



国際ロータリー第2740地区
2012～2013年度

地区協議会

日時/2012年5月27日(日)

場所/ホテル グランデはがくれ



国際ロータリー第2740地区
2012～2013年度 ガバナー・エレクト事務所

〒840-0815 佐賀市天神2丁目5-25 ニューセンチュリービル天神303号
TEL:0952-41-7388 FAX:0952-41-7389
E-mail ri2740fukumoto@silver.ocn.ne.jp

目 次

プログラムP. 1
出席者名簿P. 2～8
RI会長エレクト プロフィールP. 9
2012～13年度 RIテーマP. 10
2012～13年度 RI会長賞P. 11～14
ロータリー世界平和フォーラムP. 15～16
ガバナー・エレクト プロフィールP. 17
2012～13年度 ガバナー方針P. 18～20
ロータリー世界平和フォーラム広島開催案内P. 21～23
基調講演P. 24～25
各分科会	
クラブ奉仕部会P. 26～27
職業奉仕部会P. 28～33
社会奉仕部会P. 34～35
新世代奉仕部会P. 36～42
国際奉仕・ロータリー財団部会P. 44～54
米山記念奨学部会P. 56～57
次年度地区運営についてP. 58
2012～13年度 地区関係予算(案)P. 59
2012～13年度 地区組織P. 60
2012～13年度 地区主要行事予定(案)P. 61
2012～13年度 公式訪問日程表(案)P. 62
ロータリーソング「奉仕の理想」P. 63
会場見取り図	

国際ロータリー第2740地区 2012-2013年度

地区協議会プログラム

12:30 登録受付

13:30 開会 (1F:ハーモニーホール)	総合司会	吉田裕一郎
点鐘	ガバナー・エレクト	福元 裕二
開会の挨拶	地区協議会実行委員長	太田 善郎
国歌斉唱		
ロータリーソング斉唱『奉仕の理想』		
出席者紹介	ガバナー・エレクト	福元 裕二
ガバナー挨拶	ガバナー	岩永 信昭
次年度地区方針	ガバナー・エレクト	福元 裕二

14:20 休憩

14:30 基調講演	パスト・ガバナー	安部 直樹
	「国際ロータリーの新しい流れ」	

15:20 〈移動〉

15:30 分科会 (6分科会場)

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1) クラブ奉仕 (2F:シンフォニーホール) | 2) 職業奉仕 (2F:フラワーホールA) |
| 3) 社会奉仕 (1F:はなかご) | 4) 新世代奉仕 (2F:フラワーホールB) |
| 5) 国際奉仕・ロータリー財団 (1F:ハーモニーホール) | 6) 米山記念奨学 (3F:天山) |

16:30 〈移動〉

16:40 全体会議 (1F:ハーモニーホール)

1) 各分科会のまとめ 及び 挨拶		次年度地区各委員長
2) 次年度の地区運営	次年度地区幹事	古賀 久志
3) 次年度地区予算案承認	次年度地区会計長	福井 泰成
全体講評	地区研修リーダー	高原 武彦
閉会の辞	地区協議会実行副委員長	西田 信行
点鐘	ガバナー・エレクト	福元 裕二

17:50 〈移動〉

18:00 懇親会 (2F:フラワーホール)

挨拶	ホストクラブ会長	池田 和雄
乾杯		
ロータリーソング『手に手つないで』斉唱		

19:00 閉会の辞

2012～2013年度 地区協議会 出席者名簿 地区役員

役職		氏名	所属クラブ	備考
ガバナー		岩永 信昭	長崎北東	
パスト・ガバナー		宮島 傳兵衛	唐津東	
パスト・ガバナー		市瀬 久米嘉	佐世保東	
パスト・ガバナー		野崎 元治	長崎	
パスト・ガバナー		安部 直樹	佐世保	
パスト・ガバナー		栗林 英雄	諫早北	
パスト・ガバナー		田口 厚	長崎	
パスト・ガバナー		野口 清	佐賀	
パスト・ガバナー/地区研修リーダー		高原 武彦	有田	
ガバナー・エレクト		福元 裕二	佐賀北	
ガバナー・ノミニー		塩澤 恒雄	平戸	
次年度ガバナー補佐	第1グループ	倉永 圓宰	小城	
	第2グループ	久保 志郎	佐賀西	
	第3グループ	迎 雅璫嗣	鹿島	
	第4グループ	深谷 誓志	唐津中央	
	第5グループ	鴨川 潔	佐世保西	
	第6グループ	山口 二郎	佐世保東南	
	第7グループ	高木 栄	大村東	
	第8グループ	森 由有	諫早西	
	第9グループ	浜中 洋	長崎北東	
	第10グループ	宮本 誠	長崎東	
2011～12年度 地区幹事		中野 哲生	長崎北東	
次年度地区委員長	クラブ奉仕統括委員会	佐藤 豊	長崎琴海	継続
	会員増強委員会			
	職業奉仕委員会	駒井 英基	佐賀南	
	社会奉仕委員会	坂井 智照	佐世保中央	
	新世代統括委員会	増崎 幸一郎	伊万里	継続
	インターアクト委員会	中尾 嘉宏	佐賀北	
	ローターアクト委員会	古賀 秀仁	伊万里西	
	ライラ委員会	中島 洋三	佐世保南	継続
	国際青少年交換委員会	若杉 能將	諫早多良見	継続
	ロータリー財団委員会	石坂 和彦	大村	継続
	補助金委員会	山田 晃	長崎南	
	資金推進委員会	森永 太	佐賀西	
	ポリオ・プラス委員会	玉野 哲雄	佐世保	
	財団奨学・学友委員会	野口 道生	長崎出島	
米山記念奨学委員会	曾我 文雄	伊万里西	継続	

2012～2013地区協議会出席者名簿 ガバナー・エレクト事務所スタッフ

役職		氏名	所属クラブ	備考
次 年 度 地 区 ス タ フ	地区幹事	古賀 久志	佐賀北	
	地区副幹事(◎新世代部門担当)	岸川 正人	佐賀	
	地区副幹事(◎クラブ奉仕部門、 ◎職業奉仕、◎社会奉仕、 ロータリー財団部門、米山記念奨学担当)	平野 信一郎	佐賀西	
	地区副幹事(◎ロータリー財団部門、 ◎米山記念奨学担当)	鐘ヶ江 輝昭	佐賀南	
	地区副幹事(新世代部門担当)	西田 信行	佐賀北	
	地区副幹事(クラブ奉仕部門、 職業奉仕、社会奉仕、ロータリー財団部門、 米山記念奨学担当)	吉田 裕一郎	佐賀北	
	地区副幹事(新世代部門担当)	池田 敬介	佐賀北	
	地区事務局長	森永 敏男	佐賀北	
	地区会計長	福井 泰成	佐賀北	
地区編集長、「ロータリーの友」地区代表委員	江口 太資	佐賀北		
実 行 委 員 長	PETS実行委員長	松尾 日出輝	佐賀北	
	地区協議会実行委員長	太田 善郎	佐賀北	
	地区大会実行委員長	末次 義視	佐賀北	

2012～2013年度 地区協議会出席者名簿

第1グループ	佐賀RC	会長	本島直幸
		幹事	小松敏正
		クラブ奉仕担当理事	大島隆
		職業奉仕担当理事	副島真一郎
		社会奉仕担当理事	山下雄司
		新世代奉仕担当理事	楠田敏明
		ロータリー財団委員長	香月武
	米山記念奨学委員	田尻隆士	
	小城RC	会長	古川博文
		幹事	川口義明
		クラブ奉仕委員長	池田一介
		職業奉仕委員長	野中良子
		社会奉仕委員長	鮎川好彦
		新世代委員長	大家和義
		国際奉仕委員長	佐保幹夫
	牛津RC	会長	江本志津雄
		幹事	江口武
		クラブ奉仕委員長	城島守洋
		職業奉仕委員長	谷上守
		社会奉仕委員長	武富浩二
		新世代委員長	毛利正巳
		国際奉仕委員長	山本康徳
	米山委員長	西岡健次	
	多久RC	会長	福地孝司
		幹事	福島徳子
		クラブ奉仕委員長	野中保圀
		職業奉仕委員長	可児健治
		社会奉仕委員長	江里口尚子
		新世代委員長	相浦封哉
		国際奉仕委員長	永石喜八
	米山記念奨学委員長	松尾栄次	
	佐賀大和RC	幹事	真崎一洋
		クラブ奉仕委員長・理事	牧瀬勝将
職業奉仕委員長・理事		古賀くみ子	
社会奉仕委員長・理事		寺崎正三郎	
国際奉仕委員長・理事		浅川達夫	
米山委員会委員		井手浩利	

第2グループ	佐賀西RC	会長	前田博憲
		幹事	大坪豊
		クラブ奉仕担当理事	大塚良弘
		職業奉仕委員長	原口政博
		社会奉仕担当理事	本村一
	佐賀北RC	新世代担当理事	大塚浩司
		国際奉仕担当理事	隅康二
		会長	山口誠二
		幹事	立石泰彦
		クラブ奉仕担当理事	岸川博見
佐賀南RC	職業奉仕担当理事	中尾勇人	
	社会奉仕担当理事	橋口健	
	新世代奉仕担当理事	吉岡政弘	
	国際奉仕担当理事	太田記代子	
	国際奉仕副委員長	古賀益子	
神埼RC	会長	笠慶宣	
	幹事	古宇田れい子	
	クラブ奉仕担当理事	鐘ヶ江輝昭	
	職業奉仕担当理事	宮田豊	
	社会奉仕担当理事	南里和成	
	新世代担当理事	下村敬司	
	国際奉仕担当理事	藤井義博	
佐賀空港RC	米山記念奨学委員長	川副隆裕	
	会長	伊東和孝	
	幹事	野田初憲	
	クラブ奉仕委員長	中村義憲	
	職業奉仕委員長	友田清	
	社会奉仕委員長	福山和彦	
	新世代奉仕委員長	山崎清二	
佐賀空港RC	国際奉仕委員長	陣ノ内久昭	
	米山記念奨学委員長	宮地勝朗	
	会長	田中功	
	幹事	笠井賢悟	
	クラブ奉仕委員長	荒谷義照	
佐賀空港RC	職業奉仕委員長	小山淳也	
	社会奉仕委員長	池田光晴	

第3グループ	有田RC	会長	馬場重文
		幹事	植田一真
		クラブ奉仕委員長	横岳保雄
		職業奉仕委員長	西山泰雄
		社会奉仕委員長	館林慶知
		新世代奉仕委員長	金武康男
	米山記念奨学委員長	岡部景光	
	武雄RC	会長	成川禎道
		幹事	辻清定
		クラブ奉仕委員長	井上俊正
		職業奉仕委員長	石丸実
		社会奉仕委員長	樋渡千春
		新世代委員長	前田法弘
	鹿島RC	国際奉仕委員長	馬渡洋三
		米山委員長	中尾中
		会長	馬場泰造
		幹事	清水孝昭
		クラブ奉仕理事	岡興一郎
		職業奉仕理事	大坪稔
	嬉野RC	社会奉仕理事	峰松幸弘
		新世代奉仕理事	折敷瀬三徳
		国際奉仕理事	馬場謙吾
		米山副委員長	花島光喜
		会長	中島修
		幹事	山口孝四郎
	大町RC	クラブ奉仕委員長	村島秀典
		職業奉仕委員長	山口保
		社会奉仕委員長	森四朗
国際奉仕委員長		平井恒治	
会長		池田英紀	
幹事		杉原英敏	
白石RC	クラブ奉仕委員長	山口輝二郎	
	職業奉仕委員長	諸石一三	
	社会奉仕委員長	鶴田健	
	新世代委員長	山口康雄	
	国際奉仕(米山・R財団)委員長	小林正治	
	会長	山口繁喜	
太良RC	幹事	池上司	
	職業奉仕委員長	小野和則	
	社会奉仕・新世代委員長	大田尾一美	
	国際奉仕(米山・R財団)委員長	藤井敏彦	
	会長	秀島寛	
	幹事	川島力男	
SAA	牟田則雄		
職業奉仕理事	山口渡		
国際奉仕理事	馬場一朗		

第4グループ	唐津RC	クラブ奉仕委員長	辻幸徳
		職業奉仕副委員長	江頭紘一
		社会奉仕委員長	藤山英周
		国際奉仕委員長	田中博
	伊万里RC	R財団・米山委員長	隅田穰男
		会長	吉富直助
		幹事	一ノ瀬芳信
		クラブ奉仕担当理事	田中丸治樹
	唐津東RC	職業奉仕担当理事、委員長	中原英嗣
		新世代奉仕担当理事、委員長	川原文夫
		国際奉仕担当理事、委員長	犬塚勝政
		米山担当理事、委員長	千葉健史
	唐津西RC	会長	高田芳雄
		幹事	松尾憲篤
		クラブ奉仕委員長	井上猛雄
		職業奉仕副委員長	館林清美
	伊万里西RC	社会奉仕委員長	平野峻策
		新世代委員長	齊藤全隆
		国際奉仕委員長	坂本慎一郎
		R財団・米記念山奨学委員長	八島弘直
	唐津中央RC	会長	竹尾啓助
		幹事	外尾健
		クラブ奉仕委員長	中江章
		社会奉仕委員長	保利喜英
	唐津RC	新世代奉仕委員長	吉井正司
		会長	山崎光英
		幹事	大宅節夫
		クラブ奉仕委員長	馬場久之
唐津RC	職業奉仕委員長	池永晃一	
	社会奉仕委員長	小島清嗣	
	国際奉仕委員	山口正憲	
	米山記念奨学委員長	田中貞義	
唐津RC	会長	成富茂安	
	幹事	米田均	
	クラブ奉仕委員長	宮崎邦喜	
	職業奉仕委員長	近藤豊守	
唐津RC	社会奉仕委員長	濱口吉治	
	新世代委員長	宮丸典子	
	国際奉仕委員長	松尾秀人	
	米山委員長	立華浩	

第5グループ	佐世保RC	会長	長 島 正
		幹事	円 田 浩 司
		クラブ奉仕委員長	円 田 昭
		職業奉仕委員長	富 永 雅 弘
		社会奉仕委員長	木 村 公 康
		新世代委員長	高 田 俊 夫
		国際奉仕委員長	藤 井 隆
		財団奨学・米山委員長	長 富 正 博
	平戸RC	会長	墨 谷 泉
		幹事	福 田 詮
		クラブ奉仕委員長	小 田 計 吾
		職業奉仕委員長	村 節 雄
		社会奉仕委員長	磯 田 幸 男
		新世代副委員長	大 久 保 讓 二
	佐世保西RC	国際奉仕委員長	吉 澤 裕 輔
		米山委員長	安 部 重 幸
		会長	山 口 管 律
		幹事	山 本 茂 雄
北松浦RC	クラブ奉仕委員長	江 口 圭 介	
	副会長	岩 崎 邦 臣	
	新世代委員長	副 島 洋 平	
	国際奉仕委員長	岡 本 章 二	
	会長	森 山 政 幸	
	幹事	佐 々 木 裕 二	
	クラブ奉仕理事	御 厨 増 尚	
	職業奉仕理事	岩 屋 和 俊	
松浦RC	社会奉仕理事	赤 木 行 秀	
	新世代奉仕委員・監査役	松 尾 清 治	
	国際奉仕理事	法 師 山 真 人	
	財団・米山記念担当委員長	前 田 治 伸	
松浦RC	会長	百 武 裕 二	
	幹事	小 田 浩	
	副会長・クラブ奉仕委員長	白 石 正 良	
	社会奉仕副委員長	毛 利 智 宏	
	新世代委員長	朝 永 春 郎	
	国際奉仕委員長	山 本 規 仁	
国際奉仕委員	原 田 孝		

第6グループ	佐世保南RC	会長	馬 郡 謙 一
		幹事	角 康 隆
		理事・クラブ奉仕委員長	福 田 武
		理事・職業奉仕委員長	大 坪 啓 一
		理事・社会奉仕委員長	岩 永 史 城
	佐世保東RC	理事・新世代奉仕委員長	直 江 弘 明
		国際奉仕副委員長	近 藤 正 人
		会長	入 江 昭 彦
		クラブ奉仕委員長	前 田 和 隆
		職業奉仕委員長	江 良 秀 樹
佐世保北RC	社会奉仕委員長	長 野 公 道	
	新世代奉仕委員長	金 澤 一	
	国際奉仕委員長	橋 口 正	
	会長	西 川 正 美	
佐世保中央RC	幹事	中 野 雄 一 郎	
	クラブ奉仕委員長	宮 崎 有 恒	
	職業奉仕委員長	牧 野 博 一	
	新世代奉仕委員長	中 井 康 晴	
	国際奉仕委員長	日 高 省 三	
	R財団・米山委員長	小 西 宗 十	
佐世保東南RC	会長	四 元 清 安	
	幹事	前 田 眞 澄	
	クラブ奉仕委員長	坂 井 智 照	
	職業奉仕委員長	川 崎 洋 一	
	社会奉仕委員長	崎 山 信 幸	
	新世代奉仕委員長	野 村 和 義	
	国際奉仕委員長	後 田 明 子	
	副会長	大 久 保 厚 司	
ハウステンボス佐世保RC	会長代理	今 里 寿 徳	
	幹事	古 川 正 美	
	クラブ奉仕委員長	田 中 國 博	
	職業奉仕委員長	古 川 幸 造	
	社会奉仕委員長	森 山 隆 明	
	新世代奉仕委員長	牟 田 義 豊	
	国際奉仕委員長	法 本 憲 一 郎	
米山記念奨学委員長	中 嶋 春 市		
ハウステンボス佐世保RC	会長	中 川 英 俊	
	幹事	戸 村 正 司	
	クラブ奉仕委員長(理事)	高 倉 恭 子	
	職業奉仕委員長(理事)	宮 下 光 世	
	社会奉仕委員長(理事)	柳 井 俊 秀	
	新世代副委員長	久 保 田 健 二	
副会長・地区役員	川 崎 伸 一		

大村R C	会長	荒木 静男	
	幹事	伊達 秀喜	
	会員組織担当理事	高尾 徹	
	職業奉仕担当理事	御厨 幹正	
	社会奉仕担当理事	渡海 昇	
	新世代奉仕担当理事	鶴田 公成	
	国際奉仕理事代理	江口 照年	
	地区財団委員	西川 義文	
	島原R C	会長	花田 勝美
		幹事	森山 一秀
クラブ奉仕委員長		高原 俊典	
職業奉仕委員長		谷川 正文	
社会奉仕委員長		安藤 竜順	
新世代委員長		大場 堂志	
国際奉仕委員長		喜多 清基	
ロータリー財団・米山委員長		高田 一始	
雲仙R C	会長	金澤 秀三郎	
	幹事	加藤 一隆	
	クラブ奉仕委員長	佐藤 誠	
	職業奉仕委員長	豊田 康裕	
	社会奉仕委員長	福田 宥晃	
	新世代委員長	三宅 真吾	
	国際奉仕委員長	野口 邦夫	
	米山記念奨学委員長	松永 忠義	
大村北R C	会長	小坂 信春	
	幹事	麻生 康友	
	クラブ奉仕委員長	上田 善行	
	職業奉仕委員長	浦田 直彦	
	社会奉仕委員長	鳥越 真一	
	新世代委員長	岡 富栄	
	国際奉仕委員長	上野 祐太郎	
	国際奉仕委員(米山担当)	牧山 隆雄	
島原南R C	会長	中村 一三	
	幹事	森 誠	
	クラブ奉仕委員長	梶原 光廣	
	職業奉仕委員長	本多 進	
	社会奉仕委員長	永橋 秀光	
	新世代委員長	野村 英作	
	国際奉仕委員長	宮崎 友明	
	米山記念奨学委員長	日向 啓	
大村東R C	会長	川里 眞介	
	幹事	池田 耕造	
	クラブ奉仕委員長	俣野 正俊	
	職業奉仕委員長	一瀬 俊行	
	社会奉仕委員長	里脇 岩男	
	新世代委員長	松村 学	
国際奉仕委員長	流鍋 馬清規		

諫早R C	会長	根来 博文
	幹事	村田 省三
	クラブ奉仕委員長	立川 豊三郎
	職業奉仕委員長	岩崎 真左士
	社会奉仕委員長	山田 和弘
	国際奉仕委員長	松原 究
	米山記念奨学委員	廣渡 雅也
諫早北R C	会長	古川 泰蔵
	幹事	山下 武則
	クラブ奉仕委員長	岩崎 修一
	職業奉仕委員長	池田 栄雄
	社会奉仕委員長	津田 宏二郎
	新世代委員長	佐藤 修一
	国際奉仕委員長	小溝 忠則
米山記念奨学委員長	杉原 宏一	
諫早西R C	会長	池松 和彦
	幹事	塚原 浩三
	クラブ奉仕委員長	中村 正美
	職業奉仕委員長	山口 大司
	社会奉仕委員長	木村 暢義
	新世代委員長	宮本 峻光
	国際奉仕委員長	吉次 良治
諫早多良見R C	会長	柴田 克博
	クラブ奉仕委員長	当麻 洋文
	職業奉仕委員長	堀川 雄一
	社会奉仕委員長	中川 浩司
	新世代委員長	若杉 能將
	国際奉仕理事	北島 良樹
	ロータリー財団理事	鳥山 徹
米山記念奨学会委員長	松本 尚武	
諫早南R C	会長	山口 賢也
	幹事	荒木 和美
	クラブ奉仕委員長	宇土 一夫
	職業奉仕委員長	助村 房子
	社会奉仕委員長	岩永 則昭
	新世代委員長	中島 毅洋
ロータリー財団委員長	樋口 茂樹	

第9グループ	長崎RC	クラブ奉仕理事	天本俊太
		職業奉仕理事	本田時夫
		地域発展委員長	松本容治
		新世代奉仕理事	川原強
		国際奉仕理事	中村重敏
	福江RC	米山記念奨学委員長	藤田智久
		会長	戸田博之
		幹事	中村吉廣
		クラブ奉仕担当理事	谷川和啓
		職業奉仕委員長	吉田泰之
	長崎北東RC	社会奉仕委員長	田中雄介
		新世代委員長	才津光寛
		会長	丸木覚誠
		幹事	井手創三郎
		会員増強委員長	草野一夫
	福江中央RC	職業奉仕理事	西亮
		社会奉仕理事	岡本文夫
		ロータリー財団委員長	古賀明
		会長	神之浦潔
		幹事	本岡晃
長崎西RC	クラブ奉仕委員長	浦繁郎	
	社会奉仕委員長	山本稔	
	新世代委員長	御手洗富章	
	国際奉仕委員長	尾崎和典	
	米山記念奨学委員長	田川務	
長崎琴海RC	会長	日高豊久	
	幹事	水本由幸	
	クラブ奉仕理事	劉濟昌	
	職業奉仕理事	北口功幸	
	社会奉仕理事	寺坂基幸	
長崎出島RC	新世代理事	山口圭一	
	国際奉仕理事	増崎進一	
	米山記念奨学委員長	栗原博志	
	会長	長谷川宏	
	クラブ奉仕担当理事	佐藤豊	
長崎北RC	職業奉仕担当理事	梶原亮謙	
	社会奉仕担当理事	田中一広	
	新世代奉仕担当理事	松石健二	
	国際奉仕担当理事	友岡純一	

長崎北RC	会長	里隆光
	幹事	宮田耕一
	クラブ奉仕担当理事	林敏幸
	職業情報・ボランティア委員長	柴田義孝
	社会奉仕担当理事	濱崎宏明
長崎南RC	新世代担当理事	中部省三
	会長	梅本義信
	幹事	東晋
	クラブ奉仕理事	横田貞三
	職業奉仕理事	伊藤年徳
長崎東RC	新世代奉仕理事	内山洋明
	国際奉仕理事	堀内英俊
	米山記念奨学委員長	岩永浩昭
	会長	迫龍二
	幹事	黒部勝則
東長崎RC	クラブ奉仕理事	中富武満
	職業奉仕理事	峰利克
	社会奉仕委員長	佐藤修
	新世代理事	瀬崎陽三
	国際奉仕理事	大田義弘
長崎中央RC	米山記念奨学会委員長	北川常廣
	会長	吉川茂
	幹事	山口善生
	SAA・プログラム、クラブ会報、広報委員長	野上龍彦
	社会奉仕理事	八木浩二
長崎中央RC	次々年度会長・会員選考委員	友永修一
	ロータリー財団委員長	松山敏雄
	米山カウンセラー	井口昭彦
	会長	今西建夫
	幹事	劉濟文
長崎出島RC	クラブ奉仕理事	岡田康信
	職業奉仕理事	高津喬雄
	社会奉仕理事	原田知行
	新世代奉仕理事	渡邊芳明
	国際奉仕理事	田中達也
長崎出島RC	会長	村木昭一郎
	幹事	鉄川進
	クラブ奉仕理事	深堀正義
	職業奉仕理事	殿村周三
	社会奉仕理事	佐伯秀人
長崎出島RC	新世代奉仕理事	有馬裕幸
	ロータリー財団委員長	前田利孝
	米山記念奨学委員長	伊東浩子

国際ロータリー 会長エレクト 田中作次氏 プロフィール

田中 作次(埼玉県、八潮市)

2012-13 年度国際ロータリー会長
2006-10 年度ロータリー財団管理委員
2003-05 年度国際ロータリー理事
1994-95 年度地区ガバナー

田中作次氏は、株式会社ダイカ会長、
全国家庭紙同業界連合会会長、
八潮市商工会副会長を務められました。



1975 年に八潮(やしお)ロータリー・クラブの創立会員としてロータリーに入会して以来、RI 理事、ロータリー財団管理委員のほか、2009 年バーミンガム国際大会委員長をはじめとする各種委員会の委員と委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナー、研修リーダーを歴任されました。自身が所属する地区では、バングラデシュに学校を建設する活動に献身されました。

RI 超我の奉仕賞およびロータリー財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞された田中氏は、京子夫人とともにポール・ハリス・フェロー、恒久基金ペネファクター、大口寄付者、そしてアーチ・クランフ・ソサエティーのメンバーとなっています。このほかにも、ロータリー平和フェロシップ基金を設立されました。

京子夫人とは 1963 年にご結婚され、現在、埼玉県八潮市にお住まいです。
3 人のお子さんと 6 人のお孫さんがいらっしゃいます。

テーマ 「奉仕を通じて平和を」

Peace through Service

2012-13年度国際ロータリー会長

田中 作次

平和という概念は、人によって、文化によって異なります。

心の平安や家族の幸せ、満足感を指す場合もあるでしょうし、人間の基本的ニーズが満たされた安全な状態を指すこともあるでしょう。平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成できる目標です。

ロータリーにおいて、奉仕とは、片手間にすることでも、たまに取り組んでみることでもありません。奉仕とは生き方です。それは、思いやりの心を重んじることであり、調和へといたる道です。生活のあらゆる場面で奉仕を実践することによって、私たちは分かち合いの精神を育み、友好を見出し、平和の道を選ぶことができます。

2012-13ロータリー年度には、平和が私たちの焦点、そして目標となり、ロータリアンの皆さまには、「奉仕を通じて平和を」もたらすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。平和に向けた努力は、すべての人、家族、クラブ、地区、地域、そして国から始まると思います。

ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先すれば、自分よりも他者のニーズが優先され、考え方ががらりと変わり、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。人々を助けよう、人々がもっと幸せになるよう自分にできることをしよう、という気持ちがさらに湧き上がります。

自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してもさらに心を開くことができます。それは、他人を変えようとするのではなく、すべての人やものが自分に何かを教えてくれること、毎日、新たな成長の機会が与えられることを認識することになります。

奉仕を通じて、私たちは、違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになります。感謝の気持ちを持てば、もっと相手を理解でき、あらゆる人の中に善を見出せるようになります。こうした理解を深めることで、他者への尊重の念が高まり、互いに対する尊重の念があれば、人々は平和に暮らすことができると思います。

ロータリーの奉仕は、さまざまなかたちで平和を助長します。私たちは、クラブと地区で、世界中の地域社会に健康、安全、人間の尊厳をもたらすために活動し、競争よりも協力、自分の儲けよりも公益に価値を置こうという気持ちが、私たち一人ひとりの中に生まれます。自分を見つめることを通じて、私たちは、完璧な人間などいないということ、そして誰もが人から何かを学べるということを理解します。

ロータリー独自の標語、「超我の奉仕」は、奉仕の最高のかたちを表しています。このような奉仕こそ、私たちが歩むべき道であると、私は信じています。この道はロータリアンが築いた道であり、世界のすべての人々が歩むことのできる道です。さらに深い思いやり、満足、寛容、理解へといたる道です。

「奉仕を通じて平和を」を標榜するなら、私たちは、自分たち、そして世界のために、さらなる平和へ向けて邁進していくことができるでしょう。

会長賞

2012-13年度国際ロータリー会長

田中 作次

会長賞は、充実したクラブをつくり、効果的な奉仕活動を行い、公共イメージを向上するさまざまな活動を実施したクラブを表彰するために設けられた賞です。会長賞の資格となる活動を行うことで、世界34,000以上のロータリー・クラブとともにロータリー全体の目標の達成に寄与し、活動の効果を一層高めることができます。

手続き

クラブの今年度の活動成果を評価するため、以下の書式にご記入ください。クラブが会長賞の資格を満たすには、今年度の会長チャレンジおよび3つのカテゴリーの必須項目をそれぞれ満たし、さらに各カテゴリーの追加項目の中から必要最低数の活動を達成または完了することが求められます。特記されていない限り、すべての活動は7月1日から3月31日までの間に実施し、完了しなければなりません。

クラブが本書式に記入後、地区ガバナーに送付してください(国際ロータリーに直接送付しないようお願いいたします)。国際ロータリーに直接送付された書式は受賞の対象となりません。書式に記入漏れのないことをお確かめの上、3月31日までに地区ガバナーにご提出ください。

地区ガバナーは、クラブから書式を受理後、会長賞の資格を満たしたクラブ名を4月15日までに「会員アクセス」からオンラインでご提出ください。

2012-13年度会長チャレンジ

必須項目

田中作次RI会長からのチャレンジ:クラブまたは地域社会で平和フォーラムを開催するか、平和に焦点を当てた奉仕プロジェクトを実施する。

2012-13年度会長のこのチャレンジをクラブが満たした場合は、ここをクリックしてください。

クラブの強化

必須項目

具体的な年次目標と長期目標を定め、3年にわたるクラブの長期計画を導入する。または、本書式の記入時点までに、クラブの年次目標に向けて進展を果たす①。

上記の項目を満たした場合はここをクリックしてください。

追加の活動項目

受賞資格を得るには、クラブは以下の中から少なくとも3項目を達成または完了する必要があります

クラブ評価またはクラブのビジョン(将来像)を描く作業を行い、その結果またはフィードバックを基に修正をする(委員会構成の変更、例会時間の変更、例会の手続きの変更、など)

- クラブが新会員にとって魅力的な存在となり、会員を維持するための画期的アプローチを取ることによって、7月1日から3月1日までの間に少なくとも会員を1名純増させる
 - 退会の原因を分析し、会員維持率を最低85%に維持するための行動計画を立てる
 - 少なくとも1つの奉仕活動およびクラブの親睦活動に参加してもらうことによって、全会員の参加を促進する
 - クラブに十分に反映されていない人口層(性別、年齢、職業、民族など)の新会員を少なくとも2名勧誘することによって、会員基盤を幅広くする
 - 新会員の歓迎プログラムと個人指導(メンター)プログラムを開始する
 - クラブと関わりのある学友との連絡やつながりを築くためのプログラムを開始する、または40歳以下のロータリー・プログラムの元参加者や財団学友を少なくとも1名入会させる
 - 全会員のための指導力育成プログラムを導入する⑥。もしくは、指導力育成に関するクラブの年次目標を達成し、各会員に指導的役職か、クラブ委員会(小委員会)またはプロジェクト企画の役割を割り当てる
- クラブは、上記のセクションにある追加の活動項目をいくつか完了または達成しましたか。
 _____ (最低3項目)

奉仕の増加

必須項目

少なくとも1つのロータリー重点分野に関連する持続可能な奉仕プロジェクトに参加する⑦。

- ・平和と紛争予防/紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生設備
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

上記の項目を満たした場合はここをクリックしてください。

追加の活動項目

受賞資格を得るには、クラブは以下の中から少なくとも3項目を達成または完了する必要があります

- 公共の認識向上または地域での募金活動を通じて、ポリオ撲滅を支援する
- ロータリー財団年次プログラム基金への参加率が100%となる(金額を問わず、すべての正会員が寄付をする)⑧
- ロータリー財団年次プログラム基金へのクラブの寄付額が、一人あたり平均100米ドル以上となる
- 地域社会のニーズ調査を実施し、その結果を基に、会員が積極的に参加できるような新しい社会奉仕プロジェクトを立ち上げる⑨
- 以下の中から少なくとも1項目を実行することにより、新世代プログラムを支援する
 - ・新しいローターアクトまたはインターアクト・クラブを提唱するか、既存のローターアクトまたはインターアクト・クラブを積極的に支援する
 - ・地域のローターアクターに個人指導を行う(メンターとなる)ロータリアンを1名任命する

- ・インターアクトまたはローターアクト・クラブとの合同プロジェクトを実施する
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)行事に参加する若者を1名推薦し、支援する
- ・例会にロータリー・プログラムの元参加者や財団学友を招き、卓話をしてもらう
- ・地域内でロータリー・プログラムの元参加者や財団学友のためのネットワークづくりの行事を主催する
- ・青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー平和フェローのいずれかを少なくとも1名推薦または受け入れる
- ・青少年交換学生、奨学生、ロータリー平和フェローを支援する他クラブを援助する

- 少なくとも1つの社会奉仕プロジェクトで、地域内の他団体と協力する
- 奉仕プロジェクトにロータリアン以外の人や家族に参加してもらう
- 新しいロータリー地域社会共同隊を提唱するか、既存の共同隊を支援する
- 国際奉仕プロジェクトにおいて他国のロータリー・クラブと協力する(援助国側・実施国側どちらとなってもかまわない)⑥

クラブは、上記のセクションにある追加の活動項目をいくつ完了または達成しましたか。

_____ (最低3項目)

-
- ① RIの「長期計画立案の手引き」(ウェブのみ)を参考資料としてぜひご活用ください。
 - ② 指導力育成:プログラムを始めるための手引き(250-JA)をご参照ください。
 - ③ 「ロータリーの重点分野」(965-JA)が参考となります。
 - ④ 「EREYクラブ・サクセス・キット」(958-JA)を参考資料としてご活用ください。
 - ⑤ 「地域社会の調査法の紹介」(605-JA)をご参照ください。
 - ⑥ プロジェクトの協同提唱者探しにはロータリーのProjectLINKデータベースをご利用ください。

クラブの公共イメージの向上

必須項目

RIの「人類のための活動します(Humanity in Motion)」または「あと少し(This Close)」広告を活用して、ロータリーとは何か、何をやる団体なのかを知ってもらうための大々的な公共イメージ キャンペーンを実施する⑦

- 上記の項目を満たした場合はここをクリックしてください。
-

追加の活動項目

受賞資格を得るには、クラブは以下の中から少なくとも3項目を達成または完了する必要があります

- クラブが現在使っている公共イメージ促進用資料について広報の専門家に意見を聞き、このキャンペーンが一般の人々にとって魅力や重要性のあるものとなるようにする
- 行動志向のクラブ奉仕プロジェクトについてメディアで報道してもらう
- クラブのウェブサイトを立て上げる。または既存のクラブのウェブサイトを改善し、対外向けの要素をさらに強くする
- クラブの電子ニュースレターを開始し、ロータリアン以外の人や地元メディアに公開する

ソーシャルネットワーキングのウェブサイトを活用して、クラブの活動を紹介し、公共イメージを高め、会員候補者を勧誘する

以下の中から少なくとも1つの項目を実施することによって、職業奉仕に力を注ぐ⑥

・ロータリアン以外の地域の人々を対象に、キャリア相談または職業研修プログラムを立ち上げる

・職場での高い倫理基準に関する討論会やワークショップを主催し、ロータリアン以外の地元のビジネス・リーダーを招待する

・専門職業人のネットワークづくりの行事を少なくとも1回主催し、クラブ会員が地元の専門職業人と会い、ロータリーを紹介できる機会を設ける

・クラブ会員が若者を職場に招き、就職機会について情報を提供するキャリアデーを主催する

親睦、ネットワークづくり、協力を目的とした行事を少なくとも1回開催し、一般の人々が参加できるようにする。この機会を利用して、ロータリアンではない人々にロータリーを紹介する

地域の人々に知らてもらえるようなクラブ独自の活動は何かを考え、一般の人々に向けてこの活動をアピールする

クラブは、上記のセクションにある追加の活動項目をいくつ完了または達成しましたか。

_____ (最低3項目)

⑦ <http://rotary.synapticdigital.com/Languages/Japanese> からリソースをダウンロードしてご利用いただけます。

⑥ 職業奉仕入門(255-JA)を参考資料としてご活用ください。

ロータリー・クラブ名 _____

クラブ会長の署名 _____

記入漏れがないことをお確かめの上、3月31日までに地区ガバナーにご提出ください。

900A-12JA-(1011)

ロータリー世界平和フォーラム

2012-13年度国際ロータリー会長

田中 作次

国際理解、親善、平和の推進は、ロータリー運動の礎です。200以上の国と地域でロータリーが活発に活動し、その存在感を示すことは、「奉仕を通じて平和を」築く世界的リーダーとしてのロータリーの存在を確立するためにも重要です。ロータリーは、その歴史の中で、これらの分野において多くの功績を残してきました。しかし、将来にも目を向け、ロータリーの未来と世界平和の進展が今日の若者たちにかかっていることを認識する必要があります。

より良い世界を後世に残していくには、意義ある活動に若者たちに参加してもらい、将来に向けてロータリーの平和構築運動を続けていくための力を与えなければなりません。

2012-13年度、国際ロータリーは3回にわたり「ロータリー世界平和フォーラム」を開催します。それぞれ3日間のフォーラムでは、ロータリアンや地域のリーダーとともに平和への決意を固めます。ベルリンでのフォーラムは「民主主義と自由」という価値をテーマとします。ホノルルと広島でのフォーラムは「若者」に焦点を当て、ローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、ライラリアン、国際親善奨学生、ロータリー平和フェロー、学友、若きロータリアンのリーダーなど、新世代プログラムの参加者を交えて行われます。全地区から少なくとも2名の若者(上記に該当)が出席できるよう、各地区に援助していただけることを願っています。また、相互に対話が可能な中継放送を通じて、遠隔地よりフォーラムに参加できる機会も設けられます。詳細は、www.rotary.orgをご参照ください。

ロータリー・クラブと地区による平和活動

2012-13年度、クラブと地区は、さまざまな方法で地元で「奉仕を通じて平和を」推進することができます。

以下の推奨活動の中にある活動を行い、平和をクラブと地区の奉仕活動の優先の一つとしていただけるようお願いいたします。地区ガバナーは、地区大会での討論の主な主題として、平和を取り上げるよう奨励されています。

地区平和賞

地区ガバナーは、2012-13年度に平和フォーラムや平和関連のプロジェクトを実施し、成功したクラブに対し、「地区平和賞」を贈るよう奨励されています。RIは、ガバナーが使用するクラブ贈呈用表彰状のテンプレート(ひな型)の電子ファイルを提供します。ガバナーはこれを用いて、年度中に平和推進に貢献したクラブを表彰することができます。

リスボンで開かれる2013年RI国際大会での表彰

地区ガバナーは、年度内に最も優れた平和推進活動を行ったクラブの活動内容の簡単な説明をお知らせください。その中からいくつかの活動事例をwww.rotary.orgで紹介させていただきます。さらに、2013年4月15日までに提出されたクラブ平和推進活動の中から、最も優れた活動が選ばれ、リスボン(ポルトガル)で開かれる2013年RI国際大会の壇上で表彰されます。

2月23日、世界理解と平和の日(初のロータリー・クラブ会合の記念日)に併せて平和活動を計画することをご検討ください。

●クラブや地区の平和フォーラムを開催する

地域でフォーラムを開き、ロータリアンではない市民を招きます。以下は、テーマの推奨項目です。

・フォーラムの開催日は、3回のロータリー世界平和フォーラムと同じ週とし、同じテーマを取り上げます。

- ・平和に焦点を当て、紛争の仲裁と解決の機会について話し合います。
- ・地域の少数派グループ(民族や宗教上の少数派など)をフォーラムに招き、新たな友情と協力関係を生み出します。
- ・地元団体と協力して、地域における平和と紛争予防のための合同推進プロジェクトを実施します。
- ・ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、RYLA参加者を招いてフォーラムを開き、毎日の生活の中で平和を推進するよう呼びかけます。
- ・非行による暴力やいじめなど、争いの原因に青少年が対処できるよう支援する方法を話し合い、アイデアを交換し合います。
- ・地域に貢献している移民たちに対し、公に感謝の意を示します。

● 地域平和フォーラムを開催する

地元自治体をはじめとする地域団体と協力し、公共イベントを企画したり、世界理解と平和の推進におけるクラブの取り組みを象徴するようなイベントを開催します。都市の平和および安全な地域社会と学校に関連する問題についての討論会を開きます。

● 国際双子クラブによる協力関係を結ぶ

海外のロータリークラブと関係を結ぶことによって、世界理解と平和を推進します。双子クラブによる協力を通じて、政府や市民の緊張状態にある国家間の壁を取り去ります。既に他クラブと双子クラブの関係を結んでいる場合、2国間の平和的関係を推進するための合同プロジェクトを実施します。詳細は www.rotary.org/ja/makeconnections をご覧ください。

● ロータリー平和フェローを推薦する

ロータリー平和センターに留学するフェロー(毎年最高100人、世界選考によって選ばれる)は、日々の生活やキャリア、奉仕活動を通じて、国家間または国際的な協力と平和を推進し、紛争解決に貢献する明日のリーダーとなる人々です。

● 紛争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する

紛争や戦争の根底には、感染症、非識字、飢餓、貧困、天然資源の不足といった理由が潜んでいます。地域に存在するこうした問題に取り組むプロジェクトを計画したり、国際プロジェクトで他国のクラブと協力します。

2012-13年度ロータリー世界平和フォーラム

ベルリン(ドイツ) 国境のない平和

2012年11月30日～12月2日

平和を築き、国際理解と協力において人々が相互にかかわり合う機会を推進する上での、民主主義の役割を考察します。国家間の理解を促進する上での国際共同委員会の功績と役割を紹介します。

ホノルル(米国ハワイ) 平和にいたる緑の道

2013年1月25～27日

平和の前提条件として、人類が共有する環境資源の保存と保護、および自然災害の影響の緩和の重要性に焦点を当てます。新世代を中心に、若者たちによる平和のビジョンを育んでいくことに焦点を当てます。

広島(日本) 平和はあなたから始まる

2013年5月17～18日

私たち一人ひとりが日々の生活や地域社会での活動で平和を推進する方法を考察します。未来志向のこの会議では、一人ひとりが今後(何日、また何年にもわたり)どう貢献していけるかを、参加者に問いかけます。

900B-12JA-(1011)



2013.5.17-18
ロータリー
世界平和フォーラム広島

2013 ロータリー世界平和フォーラム広島 開催案内

2012-13年度の田中RI会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」です。

そのための具体的な活動の一環として、国際ロータリーはベルリン、ホノルル、広島の3都府県で「2012-13ロータリー世界平和フォーラム」を開催します。

広島では、「平和はあなたから始まる」(Peace begins with you)をテーマに、特に新世代に焦点を当て、国内の全ての地区からの、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、ライラリアン、国際親善奨学生、ロータリー平和フェロー、学友、RCC、米山奨学生や、国連ユニタール青少年大使など、多様な新世代の参加者を迎えて、ロータリアンとともに、平和への日常的な意識と行動に種火を点火し、次の時代に行動を引き継いでいく出発点とすることを目指します。

日本人として3人目のRI会長である田中作次会長が強い思いを込めて開催される日本でのフォーラムです。国内の全てのロータリアンのご協力をお願いします。

- 開催日時 : 2013年5月17日(金)～18日(土)
開催場所 : 広島国際会議場及びANAクラウンプラザホテル広島
主催 : 国際ロータリー・ロータリー財団
ホスト : 2013世界平和フォーラム広島ホスト委員会
サポート : 国際ロータリー第2710地区
特別協力 : 国連ユニタール

プログラム概要:(現在計画中で変更する場合があります)

5月17日(金)PM2:00～9:00

- プレフォーラム・ワークショップ
「平和を妨げるもの、平和で守るものを語り考えよう」
- 開会式 ○交流会(交流懇親パーティー)

5月18日(土)AM10:00～PM4:00

- 全体フォーラムⅠ:パネルディスカッション
「若い世代は、平和のために何をなすべきか」
- 全体フォーラムⅡ:パネルディスカッション
「平和はあなたから始まる」(Peace begins with you)
- 閉会式



2013.5.17-18
ロータリー
世界平和フォーラム広島

ロータリー世界平和フォーラム広島
ホスト委員会 委員長 川妻二郎(PDG)
〒730-0814 広島市中区羽衣町 1-26-810
TEL.090-1687-7439
E-mail jiro@k.email.ne.jp

2012年4月1日

2013 ロータリー世界平和フォーラム-広島

ホスト委員会 委員長 川妻二郎
(RI2710 地区 2002-03DG)

謹啓 皆様方には次年度の準備に向けお忙しいことと存じ上げます。

ご承知のとおり、2012-13 年度RI田中会長はこの1年平和を考え行動することを決断され、「奉仕を通じて平和を」のメッセージを世界のロータリアンに向けて発信され、あわせてベルリン、ホノルル、広島
島の3都市で、「ロータリー世界平和フォーラム」を開催することとされました。

田中会長の指名を受け、私が、広島で開催する「2013 ロータリー世界平和フォーラム-広島」の実行委員長を務めることとなり、広島にホスト委員会を設け、親委員会であるRIの世界平和会議委員会の指示も受けながら準備を進めているところです。

「2013 ロータリー世界平和フォーラム-広島」は広島にある多くの平和関連機関のご協力、特に国連関連機関のご支援も得て、平和のための活動のフォーラム後への継承を主眼に、広範な次世代の参加を計画しております。参加いただく皆さんにとって有意義なフォーラムにすべく全力を尽くしたいと思います。

開催趣旨と現在決定しているプログラムの概要は次ページのとおりです。開催内容についての詳細は、各種の会合やホームページ、「ロータリーの友」などで順次お知らせ致します。ホームページは4月10日頃にアップします。参加登録は7月1日から開始します。

そこで皆様にお願いが二つあります。

その一つは、あなたの地区からの、このフォーラムへのご参加、特に各種のロータリープログラムで活動している新世代の皆さんと共に是非ともご参加いただきたいというお願いです。(新世代の登録料は不要です)

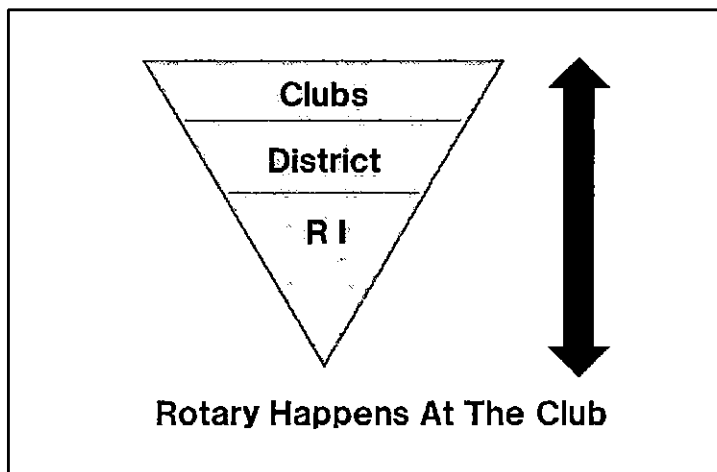
二つ目は、このフォーラムはRIや財団からの資金提供を受けず、3都市共それぞれが自立的に資金を調達することになっておりますので、広島でのフォーラムの資金について、全国のロータリアンの皆様からご協力をいただきたいというお願いです。この件はすでにサンディエゴの国際協議会でもご相談いたしました。各地区のロータリアン一人あたり300円のご協力をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

以上、ご報告と二つのお願いを申し上げましたが、田中新会長主催の日本でのフォーラムが成功裡に大きな成果を残すべく、是非ともご協力をお願い申し上げます。

謹言

地区運営参考資料-2

RI戦略計画



地区運営参考資料-3

ロータリー表彰

賞	授賞対象	推薦者	締切日、提出期間
ロータリアン個人賞			
クラブ・ビルダー賞	毎年1地区につきロータリアン1名	地区ガバナー	11月1日
「一人ひとりが実践しよう」会員の推薦と維持」賞	ロータリアンなら誰でも	クラブ会長	随時
RI超我の奉仕賞	毎年最高150名までのロータリアン	現および直前ガバナー、現および元RI理事	9月1日
ロータリー財団功労表彰状	毎年1地区につきロータリアン1名	RI理事および地区ガバナー	7月1日～5月15日(随時受付)
ロータリー財団地区奉仕賞	1地区につき最高20名までのロータリアン	地区ガバナー	随時
ロータリー財団学友人道奉仕世界賞	財団学友1名	財団管理委員、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナー、あるいは地区学友小委員会委員長	11月15日
職業奉仕リーダーシップ賞	地区ガバナー	地区ガバナー(自己推薦)	随時
クラブおよび地区の賞			
ロータリー奨励賞	ロータリー・クラブ	地区ガバナー	4月15日
小規模クラブ会員増加の表彰	ロータリー・クラブ	地区ガバナー	5月16日～6月30日
RI会員増強・拡大賞	ロータリー・クラブ	地区ガバナー	5月15日以降
RI会員増強推進計画の表彰	ロータリー・クラブ	地区ガバナー	クラブは4月15日までにガバナーに提出し、ガバナーは5月15日までにRIに提出
意義ある業績賞	各地区より1クラブ	地区ガバナー	3月15日

地区運営参考資料-1

1. 会員増強

2740地区会員数の推移

	2005-2006	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010	2010-2011
会員数	2,531	2,517	2,382	2,324	2,207	2,204
前年比	-95	-14	-135	-58	-117	-3

2. ロータリー財団への寄附

2740地区寄附額の推移

単位：\$

	2005-2006	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010	2010-2011
寄附額	223,434	201,217	150,944	204,457	222,247	244,641
前年比	-75,101	-22,217	-50,273	53,513	14,790	22,394

244,641(総寄附額) = 186,999(年次寄附) + 44,642(使途指定寄附) + 13,000(恒久基金寄附)

186,999(年次寄附) ÷ 2,204(会員数) = 84.8 \$

3. 米山奨学会への寄附

2740地区寄附額の推移

単位：円

	2005-2006	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010	2010-2011
寄附額	26,932,498	25,089,304	22,323,229	22,305,009	21,642,271	19,413,322
前年比	-3,302,254	-1,843,194	-2,766,075	-18,220	-662,738	-2,228,949

19,413,322(寄附額) ÷ 2,204(会員数) = 8,808円

2012-2013 年度ガバナー方針

RI 方針

1. RI テーマ 「Peace through Service 奉仕を通じて平和を」
 - ・「平和」に関する奉仕活動を優先課題に
 - 平和の解釈は人それぞれ(幸福感、心の平穏、静けさなど)
 - 友情、つながり、思いやりをもって「平和」を現実に近づける
 - ・世界平和フォーラムへの参加を
 - ベルリン(ドイツ)……国境のない平和(民主主義の役割)
 - ホノルル(米国ハワイ)……平和にいたる緑の道(環境問題)
 - 広島(日本)……平和はあなたから始まる(未来志向)
 - ・会長賞へのチャレンジ
 - 平和フォーラムの開催或いは平和に焦点をあてた奉仕プロジェクト
2. RI 戦略計画
 - ・クラブのサポートと強化
 - クラブの刷新性と柔軟性、奉仕活動への参加、会員の多様性増進
 - 会員の勧誘と維持など
 - ・人道的奉仕の重点化と増加
 - ポリオ撲滅、奉仕の継続性(新世代奉仕、6つの重点分野)
 - 他団体との協力やつながり、海外とのプロジェクト推進
 - ・公共イメージと認知度の向上
 - イメージとブランド認知の調和、行動を主体とした奉仕の推進
 - 職業奉仕の強調、クラブにおけるネットワークづくり

地区方針

1. 各クラブでRIテーマに沿った奉仕活動、良いことを1つ以上実行しよう
2. 若い世代の育成につながることを考え、実行しよう
3. 表彰をできるだけ多くしたいので積極的な応募を
4. 東日本大震災の支援を継続しよう
5. 会員増強の目標 純増2名以上(高い目標を掲げよう)
6. ロータリー財団への年次寄附目標 1人平均100ドル(8000円/年間)
7. 米山奨学会への寄附目標 1人平均16,000円/年間

ガバナー・エレクト 福元裕二プロフィール

氏名 福元 裕二
生年月日 1949年7月16日
現住所 佐賀県佐賀市開成六丁目10-12
現職 学校法人永原学園理事長
学校法人永原学園西九州大学
短期大学部学長



ロータリー歴

1992年 佐賀北ロータリークラブ入会
2005年 佐賀北ロータリークラブ会長
1996年 ポール・ハリス・フェロー
2006年 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
2011年 米山功労者

学歴および職歴

1972年3月 九州大学農学部食糧科学工学科卒業
1974年3月 九州大学大学院農学研究科修士課程修了
1974年4月 帝人株式会社 生物医学研究所
1990年4月 学校法人永原学園佐賀短期大学
1999年4月 学校法人永原学園佐賀短期大学 学長(大学名変更、現在に至る)
2007年4月 学校法人永原学園西九州大学 学長(2012年3月迄)
2008年4月 学校法人永原学園 理事長(現在に至る)

団体歴

九州地区私立短期大学協会副会長
日本私立短期大学協会常任理事
短期大学基準協会理事
全国栄養士養成施設協会理事
私立大学退職金財団理事
日本私立学校振興・共済事業団委員



2013.5.17-18
ロータリー
世界平和フォーラム広島

開催予算計画

開催に関する予算は現在計画中ですが、概ね以下のようになります。

総参加人員1,200人のうち新世代400人、外部関係団体などの招聘者200人の登録料、交流会費を無料とする関係で、参加するロータリアンに過大な負担がかかりますので、全国のロータリアンのご協力を必要とします。

以上ご理解いただき、一人当たり300円のご協力をお願いします。

収入の部

全国のロータリアンからの拠出	24,000,000円(@300円×80,000人)
登録料(参加ロータリアンのみ)	6,000,000円(@10,000円×600人)
交流会費(参加ロータリアンのみ)	5,000,000円(@10,000円×500人)

収入合計 35,000,000円

支出の部

会場費・設備使用料(国際会議場)	5,000,000円
会場設営費	5,000,000円
昼食代	2,500,000円(1,200人分+スタッフ分)
交流会費	5,000,000円(1,000人分)
映像システム	3,500,000円
同時通訳関係	2,000,000円
公報・記録製作費	2,000,000円
登録関係費(プログラム含む)、	3,000,000円
事務局経費・会議費	4,000,000円
その他雑費	3,000,000円

支出合計 35,000,000円

○お問い合わせ先

事務局開設(2012年10月予定)までのお問い合わせは下記をお願いします。

〒730-0814 広島市中区羽衣町1-26-810 川妻二郎
TEL 090-1687-7439 (川妻携帯)
Mail jiro@k.email.ne.jp

基調講演

パスト・ガバナー 安部 直樹(佐世保 RC)

プロフィール

学 歴	1970年(昭和45年3月)	青山学院大学大学院 経済学研究科 経済学専攻修士課程 修了
	2005年(平成17年3月)	九州大学大学院 比較社会文化研究科 日本社会文化専攻 博士後期課程 満期退学
職 歴	1985年(昭和60年4月)	九州文化学園短期大学 名称変更により 長崎短期大学 学長 (平成18年3月迄)
	1998年(平成10年6月)	学校法人九州文化学園 理事長 (現在に至る)
	2002年(平成14年4月)	社会福祉法人和敬会 理事長 (現在に至る)
	2003年(平成15年11月)	社会福祉法人世知原福社会 理事長 (現在に至る)
	2012年(平成24年4月)	長崎国際大学 学長 (現在に至る)

主なロータリー歴

1978年(昭和53年11月)	佐世保ロータリークラブ入会	(現在に至る)
1999年(平成11年7月)	佐世保ロータリークラブ会長	(2000年6月迄)
2003年(平成15年7月)	第2740地区ガバナー	(2004年6月迄)

演題 「国際ロータリーの新しい流れ」

組織体なるものは、年々、日々、一刻一刻と変化するものです。

不易流行という言葉は、守るべき理念と変革しなければならない形態とが同居しています。

ポール・ハリスの唱えた奉仕、親睦の理念。しかし、それを維持するための組織は常に変革を迫られています。

100年以上の歴史を持ち、34,000クラブ、120万人の会員を有するロータリーは世界最大の組織と言えます。その中で、ロータリーの運営形態も変わっていることは、皆さん御存知の通りであります。

私達は変化するロータリーにどう向き合うか、共に考えてみたいと思います。

MEMO

第1分科会

クラブ奉仕部会

15:30~16:30 2F シンフォニーホール

アドバイザー リーダー	パスト・ガバナー クラブ奉仕統括委員長 兼 会員増強委員長	野 口 清 (佐賀RC)
副リーダー SAA	会員増強委員 クラブ奉仕統括委員	佐 藤 豊 (長崎琴海RC) 丸 木 覚 誠 (長崎北東RC) 梅 津 哲 夫 (佐賀西RC)
地区委員	クラブ奉仕統括委員	砥 綿 正 徳 (佐賀RC) 永 田 武 義 (佐世保北RC) 助 村 房 子 (諫早南RC) 川 上 信 幸 (長崎東RC)
	会員増強委員	飯 盛 康 登 (多久RC) 大 坪 豊 (佐賀西RC) 貞 方 正 一 (平戸RC) 井 上 亮 (佐世保中央RC) 谷 川 正 文 (島原RC)

クラブ奉仕統括委員会 活動方針

ロータリーはクラブ奉仕から始まる

クラブ奉仕統括委員長 兼 会員増強委員長 佐藤 豊(長崎琴海 RC)

奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、ロータリーの礎石です。

年間を通して、楽しい例会、充実した奉仕、異業種交流が闊達で、笑顔あふれるクラブは、クラブ奉仕の充実度に比例しています。

強力で健全なクラブでも、効果的な組織づくりや親睦に欠けたところがあれば、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕といった他の奉仕部門でプログラムやプロジェクトを実施しても、地域や国際社会の問題やニーズに効果的に応えられないでしょうし、事実、応えることができません。

私達は果たして、新しいロータリー年度で、どれ程満足できる活動ができるでしょうか。

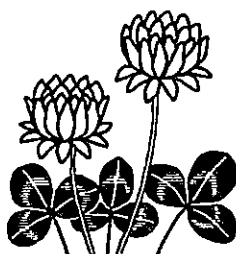
その答えは、以下にあります。

- ①福元ガバナー、古賀地区幹事は年間を通して、57RC の為に、最新の情報と最適なアドバイスを提供してくれる強力な道しるべです。
- ②ホームクラブの経験深い先輩ロータリアンという、最も身近なお手本に学びましょう。
- ③グループ内や近隣クラブのロータリアンから優れたヒントが得られることも期待できます。
- ④本日のセミナーは、唯一 57RC が親しく交流しながら、クラブ運営についての知識を体得する絶好の機会です。

しかしながら、近年の日本のロータリーには、いくつかの懸念すべき問題があります。

その第一番は、16年連続して会員が減少していることです。これは何としても日本中のロータリアンが知恵と力を結集して克服すべき事柄です。2012-13年度 RI 会長・田中作次氏は「奉仕を通じて平和を」と年間テーマを示されました。日本国籍の3人目の RI 会長の誕生は、減少を続ける日本のロータリーに励ましを与え、大きな飛躍の手がかりとなります。福元ガバナーは、地区目標のうち、会員増強について純増2名を提案されました。ぜひこの目標を達成すべく、活動を始めましょう。

本日は、私達の第2740地区で、より一層充実したクラブ奉仕活動が実施されるよう共に学びあいましょう。クラブ奉仕がロータリーの礎石であり、ロータリーはクラブ奉仕から始まるのですから。



第2分科会

職業奉仕部会

15:30~16:30 2F フラワーホールA

アドバイザー	ガバナー	岩 永 信 昭 (長崎北東RC)
リーダー	職業奉仕委員長	駒 井 英 基 (佐賀南RC)
副リーダー	職業奉仕委員	梶 原 亮 謙 (長崎琴海RC)
SAA	職業奉仕委員	吉 岡 義 治 (佐賀南RC)
地区委員	職業奉仕委員	山 本 康 徳 (牛津RC)

職業奉仕委員会 活動方針

職業奉仕委員長 駒井英基(佐賀南RC)

ロータリーの5大奉仕の中でもクラブ奉仕と職業奉仕は、創設以来の歴史がありロータリー活動の中でも根幹をなし、特に職業奉仕は他の奉仕団体とは一線を隔す、特徴のある奉仕部門です。

ただし、その概念は日本語としては捉えにくく、会員各自の日常の職業に内在する精神的支柱となるべきものである事から、奉仕実績を上げ難く、外部に対しては評価されにくい部門でもあります。

しかし、近年会員確保するために新入会員を迎えても、以前の如くロータリーの大先輩による炉辺会談などのようなミーティングも世代間の交流が疎になるにつれ、その実施も減少してきているのも事実です。

このためか、全国的に折角入会いただいても3年以内に退会される会員が比率としては一番多く、地区全体の会員数が伸びない原因ともなっています。

この原因として、経済的な事情も有るかもしれませんが、ロータリーとは何者かを理解していただけていない事も理由として考えられるのではないかと思います。

確かに手続き要覧は、入会時に全会員に配布されますが、硬い表現に終止しており、ロータリーの目的が明記されている定款第4条の綱領にいたっては、日本語訳がよくないためか、地区役員にでもならない限り、よく読む事も無く、読んでもいまいち内容の把握ができないう意味不明な文章と思えて魅力が解らない会員も多い事だと思います。そこで今年度の地区職業奉仕委員会でも、地区内の皆様方とともにロータリーにおける職業奉仕の意味をまた、ロータリーとはどんなにすばらしい団体かを改めて考えていただき、他には無いロータリーの魅力を皆様方のクラブの会員の方々に語れるようになっていただけたらと考えております。

そのための具体的方法は次のとおりです。

- 1 各クラブの職業奉仕委員長さんには、10月の職業奉仕月間に一度職業奉仕に関する卓話をお願いする。本日の資料もその際に少しでも役立てば幸いです。
- 2 各クラブの職業奉仕担当の方には、今年度ロータリーの綱領(目的)について卓話して頂きたい。
- 3 各クラブでの炉辺会合に「職業奉仕」について取り上げていただく。その際はロータリー情報委員会のメンバーにご協力いただく事も有効かと思われまます。
- 4 各クラブの会員さんの所や域内優良企業の訪問なども有効と考えます。

ロータリー定款第4条をもう一度考えてみよう

旧バージョン「手続き要覧」

定款第4条 綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成する事にあり。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

新バージョン「手続き要覧」

定款第4条 ロータリーの目的

ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育成する。特に次の各項を奨励する事にある。

- 第1 奉仕の機会を通して知り合いを広めること。
- 第2 奉仕の機会を通して、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、ロータリアン各自の職業の品位を保つこと。
- 第3 ロータリアン1人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活において、奉仕の例会の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、国際ロータリーの活動を通して、国際理解、親善、および平和を推進すること。

定款第4条 ロータリーの目的 修正翻訳版

ロータリーの目的は、価値ある企業活動の基礎として奉仕の理念を奨励し育成すること。
具体的には次の項目を念頭において努力し発展させることである。

- 第1 奉仕の機会を得るために、面識を深め人間関係を発展させること。
- 第2 社会に奉仕する機会を得るために、企業と専門職務の高い倫理基準を保ち、世に役立つ全ての職業の価値を認識し、ロータリーアン各自の職業を尊厳あるものにする事。
- 第3 ロータリーアンの1人ひとりが、個人として、職業人として、地域社会の一員として、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた実業家と専門分野の世界的な団体を通じて、国際理解、親善、平和を促進すること。

4つの反省

顧客に対する対応

あなたが提供できる最良の品質、最高の技術を提供していますか？
あなたは、礼儀正しく、正直ですか？

従業員に対する対応満足する報酬を与えていますか？

安全で快適な職場を提供していますか？
従業員との紛争に公正に対処していますか？
忠誠、正直、好意の手本を示していますか？

同業者に対する対応彼らに対して公正な態度で接していますか？

誠実さを感じとれる行動をしていますか？
業界において共に手を携えて、職業倫理の高揚に努めていますか？

納入業者・下請業者に対する対応公正で友好的な関係ですか？

口約束であっても正式な約束として守りますか？
これを読むと1970年代前半までは、シェルドンの職業奉仕理念が脈々と受け継がれていたことが分かります。

Four-way test 四つのテスト

「事業を繁栄に導くための四通りの基準」ならば、当然 Four-way tests と複数形になるはず
です。これが単数形であるのは、事業を繁栄に導くためには、四通りの基準を一つずつク
リアすればいいのではなく、四つ纏めたものを一つの基準として、そのすべてをクリアしな
ければならないことを意味します。ロータリーの綱領が Object of Rotary と単数形であり、四つ
の項目が渾然一体となって、一つの綱領を形作っていると同様です。

Is it the truth? 真実かどうか

商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは、非常に大
切な基準です。真実というのは、「80%の真実」という言葉が示すように、人間の心を通じた
アナログ的な判定であるのに対して、事実とはその事実があったのか、無かったのかの二者
択一を迫るデジタル的な判定ですから、ここでは「事実かどうか」「嘘偽りがないかどうか」とい
う言葉を用いるべきでしょう。

Is it fair to all concerned? みんなに公平か

fair と all concerned という言葉の翻訳に問題があります。fair は公平ではなく公正と訳すべ
きでしょう。公平とは平等分配を意味するので、例え贈収賄で得た unfair 不正なお金でも平等
に分ければ、それでよいこととなります。all concerned は all だけが訳されており、肝心の
concerned が省略されています。冒頭に述べたように四つのテストは「商取引」の基準として定
めた文章ですから、この concerned (関わりのある人、関係する人) は「取引先」のことを意
味することは明白です。従ってこのフレーズは「すべての取引先に対して公正かどうか」とい
うことを意味します。

Will it build goodwill and better friendship? 好意と友情を深めるか

goodwill は単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、
店ののれんや取引先を表します。すなわち、その商取引が店の信用を高めると同時に、より
よい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。「信用を高め、取引
先をふやすかどうか」と訳すべきです。

Will it be beneficial to all concerned? みんなのためになるかどうか

Benefit は「儲け」そのものを表す言葉です。商取引において適正な利潤を追求することは当
然なことであり、決して恥すべきことではありません。ただし、売り手だけが儲かった、また買い
手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引
先が適正な利潤を得るかどうか問題なのです。「すべての取引先に利益をもたらすかど
うか」と訳すべきでしょう。

このような厳密な翻訳を試みることによって、四つのテストが純然たる会社再建の指針である
と共に、会社経営の指針であることが理解できるのです。

ロータリーの職業宣言(1989年規定審議委員会にて採択)

- 1 職業は奉仕の一つの機会として捉えること。
- 2 職業の倫理規範、国の法律、地域社会の道徳的基準に忠実であること。
- 3 職業の品位を保つこと。自ら選んだ職業であるなら、高い倫理基準を保つよう全力を尽くすこと。
- 4 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、大衆など事業上関係のある人々に対して、公正であること。
- 5 社会に役立つ全ての職業に対して、名誉を認め、敬意を払うこと。
- 6 自分の職業をとおして、青少年に活躍の機会を与え、地域の方々の期待に答え、地域社会向上の役に立つこと。
- 7 自らの職業上の広告に対しては、正直であること。
- 8 事業上の特別な便宜を同僚のロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

2004年規定審議委員会は、この宣言の価値をさらに高めるため、次のような決議案を採択した。

全てのロータリアンは、職業倫理に対する努力をさらに続け、21世紀を迎えるに当たって、ロータリークラブがさらに高度な道徳的水準を実践している人々を惹きつけ、これまでの実績を土台として発展していこう。

第3分科会

社会奉仕部会

15:30~16:30 1F はなかご

アドバイザー	バスト・ガバナー	野崎元治 (長崎RC)
リーダー	社会奉仕委員長	坂井智照 (佐世保中央RC)
副リーダー	社会奉仕委員	久保康俊 (武雄RC)
SAA	社会奉仕委員	上瀧満 (長崎東RC)
地区委員	社会奉仕委員	藤川和敏 (佐賀RC)
		松本芳喜 (平戸RC)
		平石晃一 (佐世保北RC)
		今里寿徳 (佐世保東南RC)

社会奉仕委員会 活動方針

社会奉仕委員長 坂井智照(佐世保中央 RC)

次年度 RI テーマは「奉仕を通じて平和を」である。

「ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。」と国際ロータリーには社会奉仕に関する決議声明がある。この RI テーマと声明に掲げる精神を規範とし、常に個々のクラブが連携を保ち、また各地域との一体感を持って活動することを方針とする。

活動計画

1. 各クラブにおいて活動方針に沿った奉仕活動計画・実施を行なう。
2. 東日本大震災関連の継続的支援活動へ取り組む。
3. 各クラブが 2011-2012 年度社会奉仕委員会の予定奉仕事業について意見交換を行なう。
4. 交通安全・献血協力活動の推進。

第4分科会

新世代奉仕部会

15:30~16:30 2F フラワーホールB

アドバイザー	ガバナー・ノミニー	塩澤恒雄 (平戸RC)
リーダー	新世代統括委員長	増崎幸一郎 (伊万里RC)
副リーダー	インターアクト委員長	中尾嘉宏 (佐賀北RC)
	ローターアクト委員長	古賀秀仁 (伊万里西RC)
	ライラ委員長	中島洋三 (佐世保南RC)
	国際青少年交換委員長	若杉能將 (諫早多良見RC)
SAA	インターアクト委員	岸川正人 (佐賀RC)
地区委員	インターアクト委員	前田法弘 (武雄RC)
		松尾繁樹 (唐津RC)
		松尾慶一 (佐世保RC)
		川原博司 (大村東RC)
		三田光雄 (長崎西RC)
	ローターアクト委員	大島隆 (佐賀RC)
		小野原勝春 (鹿島RC)
		川原浩心 (唐津東RC)
		増本一也 (佐世保RC)
		岩永和一之 (長崎北RC)
		山口宏二 (長崎RC)
	ライラ委員	山下村敬司 (佐賀南RC)
		新納英明 (武雄RC)
		小溝忠徳 (諫早北RC)
		張本民雄 (福江RC)
		谷川任宏 (長崎南RC)
	国際青少年交換	鬼崎健次郎 (佐賀北RC)
		白川十郎 (伊万里RC)
		川瀨孝順 (佐世保南RC)
		戸村正司 (HTB佐世保RC)
		佐古亮景 (大村北RC)
		三山格 (長崎RC)
		瀬崎陽三 (長崎東RC)

新世代統括委員会 活動方針

新世代統括委員長 増崎幸一郎(伊万里西RC)

- 1、 新世代統括委員会のテーマ ～ 「夢、努力そして責任」
新世代の皆様は、夢(目標)があれば、それに向かって努力することが出来ることを伝えてください。そして、夢(目標)を持つことの大切さ、努力の大切さを教えてあげてください。さらには、努力が報われたとき、努力が報われなかった時の自己責任について問題提起してください。
- 2、 活動方針
 - (1) 新世代部門4委員会(IA、RA、RYLA、RYE)の自主性の尊重
 - (2) 新世代部門4委員会の連携。新世代4委員会と財団奨学・学友委員会、米山記念奨学委員会との情報交換及び交流
 - (3) 地区と各クラブとの意思疎通の強化
 - (4) 各クラブにおける新世代月間(9月)の取組の推進
標語「各ロータリアンは青少年の模範」の使用の奨励
- 3、 新世代統括委員会の行事予定
 - (1) 新世代統括委員会 会議
日時:2012.07.14(土)
 - (2) 新世代部門合同奉仕セミナー
日時:2012.08.18(土)
地区内各クラブの新世代部門担当理事、委員長(1～2名/各クラブ)

以上

インターアクト委員会 活動方針

インターアクト委員長 中尾嘉宏(佐賀北 RC)

インターアクトの目標は、「指導力や高潔な心を身につけ、他者への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任、一生懸命仕事することの価値を理解し、国際理解と親善を推進することです。」と掲げられています。

インターアクトは、「奉仕」と「国際理解」を二本の柱として活動しています。

様々な奉仕活動を通して思いやりの心、他人を助ける事の大切さ、そして自律する精神が醸成されるのを期待するものであります。奉仕への気持ちがあっても、実際に実践し行動を起こすには、内から突き上げるものや背中を押してくれるものがが必要です。生徒たちの自主性を尊重し、円滑に、しかも持続して部活が遂行されるよう顧問の先生方、ロータリーの方と共に大きな心で見守り、支援していくのが当委員会の仕事と思っています。

A. 研修会

1. 前期指導者研修会

6月16日(土) 東彼杵郡教育会館

2. 年次大会

7月28日(土)・29日(日) 一泊二日

ホスト校 諫早農業高等学校 瑞穂寮(諫早 RC)

コ・ホスト校 鎮西学院高等学校(諫早北 RC)

大村城南高等学校(大村東 RC)

3. 後期指導者研修会

1月

B. 委員会、協議会

1. 地区委員会

5月12日(土) 7月 10月 1月

2. 第1回全国インターアクト研究会

6月2日(土)

3日(日) 神戸

3. 九州4地区インターアクト合同連絡会議

10月 大分

ロータリアンに限らず、大人は子供達(小学生、中学生、高校生)の「奉仕活動」を見守り励まし支援していく事が望まれ、それが「未来への投資」と言えるのではないのでしょうか。

ローターアクト委員会 活動方針

ローターアクト委員長 古賀秀仁(伊万里西 RC)

今期の活動テーマ“action”

このテーマはローターアクト地区代表のテーマでもあります。

“action”には「～を起こす」という意味があり、これを「行動を起こす」という意味に捉え今期の活動テーマにしたいと思えます。

アクターはローターアクトの活動を通して地域に貢献し、自分を磨き、次世代を担うリーダーとたなくてはなりません。しかしながらローターアクトはロータリークラブと同様に会員の減少という問題に直面しています。ローターアクトの活動をより活性化するためには会員増強は不可欠です。

2010年の規定審議会でロータリーの奉仕部門に「新世代奉仕」が加わりました。私たちロータリアンは次世代を担うリーダーシップを持つ新世代を育成しなければなりません。

ローターアクトクラブを持つ提唱ロータリークラブはアクトとの連携をより一層深め、活動の活性化と会員増強に尽力して頂きたいと思えます。

またローターアクトクラブを持たないロータリークラブは地区内の新世代を育成するプログラムに参加もしくはプログラムを創造し、次世代のリーダーを一人でも多く育成できるように努力して頂きたいと思えます。新世代が活性化しなければ地域は発展しないと思えます。

ローターアクト地区委員・提唱ロータリークラブに望むこと

- 1) ローターアクトの会員増強に努めること。
- 2) ローターアクトの例会に出席してローターアクトをより一層理解すること。
- 3) ローターアクトの事業に参加してより一層の活性化をうながすこと。
- 4) アクターのスキルアップを図るために人生の先輩として卓話を率先して行うこと。
- 5) アクターをロータリーの例会・親睦会・懇親会等に出席させること。

ローターアクトに望むこと

- 1) 会員増強
- 2) 提唱ロータリークラブとの連携強化
- 3) 地区内ローターアクトの相互交流
- 4) ローターアクト活動の地域への啓蒙

ライラ委員会 活動方針

ライラ委員長 中島 洋三 (佐世保南RC)

目的

ロータリー青少年指導者養成プログラム(Rotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取ってRYLA)は、年齢14～30歳の若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。RYLAを通じて、地域社会の若者たちがリーダーや良き市民としての資質を養い、人間としての成長するのを助けることができます。

ロータリアンにできること

- ・ 地域の未来のリーダーに投資する
- ・ 今日の若者の倫理観と自信を養う
- ・ 現代の若者が直面する問題について学ぶ

目標

- ・ ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心を抱いていることをいっそう明らかにすること。
- ・ 若者に実地訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年リーダーとなる方法を身につけるよう激励、援助すること。
- ・ 青少年による青少年への絶えざる、力強い指導を激励すること。
- ・ 青少年リーダーとして地域社会に尽くしている多数の青少年の優れた資質を公に表彰すること。

RI理事会推奨のコアカリキュラム (中核となる科目)

- ・ リーダーシップの基本
- ・ 良きリーダーシップの倫理
- ・ 効果的なリーダーシップにおけるコミュニケーション・スキルの重要性
- ・ 問題解決と対立管理
- ・ ロータリーとは何か、ロータリーは地域社会のために何を行っているか
- ・ 自信と自尊心の育成
- ・ 地域社会と国際社会の一員としての要素

第2740地区での開催予定

第34回 2013年5月

ホストクラブ: 佐賀南RC

第35回 2014年

ホストクラブ: 諫早北RC

第2740地区ライラ実施表

第2740地区のライラ(ロータリー青少年指導者養成プログラム)は、第1回目を1980年5月に長崎・親和の森で開催して以来、毎年実施の33回を数え、次期は34回目になります。

地区内の14～30歳までの若い人達を対象に、ホストロータリークラブや地区委員会のアイデアを結集して、実施されてきました。

・実施クラブ 過去の実施クラブです。(34回以降は予定)

回数(開催年)	ホストクラブ	会場	当番グループ	ガバナー
1回(80年 5月)	佐世保	長崎・親和の森		喜多村 禎勇
2回(81年 3月)	門司西・小倉東	英彦山・青少年の家		樋口 謙太郎
3回(82年 5月)	有田	黒髪少年自然の家		鈴木 従道
4回(83年 3月)	諫早	国立諫早自然の家		北島 常一
5回(84年 4月)	鳥栖	基山町・龍光徳寺		逸見 嘉彦
6回(85年 2月)	雲仙	雲仙・青雲荘		岩永 光治
7回(86年 2月)	佐賀北	大和町・龍登園		井田 圓之
8回(87年 3月)	長崎東	国立諫早自然の家		野田 久雄
9回(88年11月)	佐世保東	佐世保青少年の天地		田中丸 善一郎
10回(89年 2月)	唐津東	厚生年金休暇センター		辻 庚一
11回(90年 2月)	長崎南	国立諫早自然の家		村上 明
12回(91年 2月)	佐賀西	北山少年自然の家		内田 行
13回(92年11月)	大村	千々岩少年自然の家		富永 雄幸
14回(93年 5月)	佐世保北	佐世保青少年の天地		上原 寛
15回(94年 2月)	唐津	北山少年自然の家		宮島 傳兵衛
16回(95年 3月)	長崎西	国立諫早自然の家	⑨、10	市瀬 久米嘉
17回(96年 3月)	有田	黒髪少年自然の家	③、4	佐古 亮尊
18回(97年 3月)	佐賀	北山少年自然の家	①、2	牟田 勝輔
19回(98年 3月)	島原	島原・九十九ホテル	⑦、8	辻 洋三
20回(99年 3月)	佐世保中央	佐世保青少年の天地	5、⑥	野崎 元治
21回(00年 3月)	唐津西	波戸岬少年自然の家	3、④	草場 立太郎
22回(01年 3月)	長崎中央	長崎式見ハイツ	9、⑩	武井 洋一
23回(02年 3月)	鹿島	黒髪少年自然の家	③、4	福井 順
24回(03年 3月)	佐賀大和	北山少年自然の家	①、2	隅田 達男
25回(04年 5月)	諫早南	国立諫早自然の家	7、⑧	安部 直樹
26回(05年 5月)	北松浦	九十九島観光ホテル	⑤、6	栗林 英雄
27回(06年 4月)	東長崎	長崎原爆資料館	9、⑩	本城 好春
28回(07年 4月)	唐津中央	唐津ロイヤルホテル	3、④	田口 厚
29回(08年 4月)	小城	黒髪少年自然の家	①、2	野口 清
30回(09年 4月)	大村北	大村・野岳湖周辺、他	⑦、8	鈴木 泰彦
31回(09年11月)	佐世保南	佐世保青少年の天地	5、⑥	高城 昭紀
32回(11年 5月)	福江	さんさん富江キャンプ村	⑨、10	高原 武彦
33回(12年 5月)	武雄	武雄温泉ハイツ	③、4	岩永 信昭
34回(13年 5月)	佐賀南		1、②	福元 裕二
35回(14年 月)	諫早北		7、⑧	塩澤 恒雄

○印は実施グループ

国際青少年交換委員会 活動方針

国際青少年交換委員長 若杉能將(諫早多良見RC)

ロータリー青少年交換は、青少年・青年のための交換プログラムです。参加する学生は、最高1年間、海外へ留学して新しい文化を学びます。このプログラムは、ガバナー指導の下に地区委員会・クラブが推進するものであります。各クラブから推薦された候補者を地区委員会で選考し、選ばれた学生たちは交換先の地区委員会の指導のもとに、外国の家庭でホストされ、その家族の一員として過ごし、現地の学校に通学してありのままの生活体験をし、その国の風俗・習慣等を見聞しながら、国際理解と国際親善を推進するものであります。すなわち善意と国際理解のロータリー使節です。

活動目標

月1回のオリエンテーションを実施し、インバンド留學生の日本語上達度の確認、生活面に対してのアドバイスをを行う。派遣学生に対しても語学の習得や ROTEX(帰国学生)のアドバイスを確認しながら派遣先への準備を行う。

10月、長崎おくち、原爆記念館の見学を実施し日本の文化、歴史にふれまた、平和学習を行う。

関西、関東旅行を行い、日本の文化歴史を見学します。(東京・大阪・京都・奈良)

長崎県企画振興部国際課が進める「留學生と共に進める地域国際事業」の参画し、県内の小学校、中学校に訪問し留學生と子供たちとの交流を図ります。(昨年度補助金を頂きました。)

福岡地区、鹿児島地区との合同でのオリエンテーションを実施し地区委員、留學生の親睦を深めます。

次年度の派遣・留學生を5～7名にしたい。…地区委員で高校を訪問し募集を募ります。

★…地区委員をさせて頂きまして、4年を過ぎましたが、こんなに楽しい委員会はありません。派遣生が行くまでのオリエンテーションでは、この子は、大丈夫かな？やっ行ってけるだろうか？と心配していた子供がいざ帰国して来ると、堂々と自信を持って派遣先の言葉で話す姿を見ると本当に嬉しく思います。頼もしい日本の學生を一人でも多く輩出できることは、日本国家、地域への貢献に寄与しロータリアンとしての誇りを感じます。留學生の子供たちも日本語が早く上達するのを見たり、悩みながらも日本の習慣や食事になれ日本を好きになっていく姿を見るとこの事業をやった良かったと思います。

是非、多くのクラブで国際青少年交換プログラムに参加して頂きたいと思います。

第5分科会

国際奉仕・ロータリー財団部会

15:30~16:30 1F ハーモニーホール

アドバイザー リーダー	パスト・ガバナー ロータリー財団委員長	高 原 武 彦 (有田RC) 石 坂 和 彦 (大村RC)
副リーダー	補助金委員長 資金推進委員長 ポリオ・プラス委員長 財団奨学・学友委員長	山 田 晃 (長崎南RC) 森 永 太 (佐賀西RC) 玉 野 哲 雄 (佐世保RC) 野 口 道 生 (長崎出島RC)
S A A	ロータリー財団委員会幹事 兼 補助金委員	西 川 義 文 (大村RC)
地区委員	補助金委員	藤 井 義 博 (佐賀南RC) 梅 田 裕 一 (諫早多良見RC) 山 形 浩 介 (長崎出島RC)
	資金推進委員	永 尾 竹 則 (佐賀西RC) 犬 塚 勝 政 (伊万里RC) 福 田 康 孝 (佐世保南RC)
	ポリオ・プラス委員	香 月 武 (佐賀RC) 馬 場 久 之 (伊万里西RC) 鶴 卷 重 次 (長崎東RC)
	財団奨学・学友委員	隅 康 二 (佐賀西RC) 立 石 泰 彦 (佐賀北RC) 川 崎 伸 一 (HTB佐世保RC) 喜 多 清 基 (島原RC) 有 田 信 一 (長崎中央RC)

ロータリー財団委員会 活動方針

ロータリー財団委員長 石坂和彦(大村RC)

1. 2007年規定審議会にて、国際ロータリー理事会から提出された「ロータリーの標語・使命・優先事項」に関する決議が採択されました。

財団の標語は、「世界でよいことをしよう」(Doing good in the world)であり、財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。使命声明の主要分野に基づき、管理委員と理事会は、未来のロータリー財団のために、6つの重点分野を承認しました。

財団の使命の直結する6つの重点分野は、平和と紛争の予防・解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、そして経済と地域社会の発展です。

「世界でよいことをしよう」これは1917年に元会長のアーチ・クランフが残した有名な言葉です。「全世界的な規模で、慈善・教育・その他社会奉仕の分野で、よりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことにより財団は始まりました。

これを契機に、1928年国際ロータリー財団と名付けられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となりました。ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団です。」国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は、両者共に一体のものであります。

2. ロータリー財団のプログラムとして、次の3つがあります。

I. 教育的プログラム

- ① 国際親善奨学金プログラム、② 国際問題研究のためのロータリーセンター・プログラム、③ 研究グループ交換プログラム(G. S. E)、④ ロータリー平和及び紛争解決研究プログラム

II. 人道的補助金プログラム

- ① 地区補助金、② マッチング・グラント

III. ポリオ・プラスプログラム

ポリオを撲滅するという約束を果たす。

ポリオ⇒骨髄性小児麻痺

ポリオが撲滅されなければ、世界中の人々は、この病の脅威に怯えながら、暮らし続けることになります。世界が50億米ドル(邦貨にて5,000億円)投資した、この撲滅運動が成功しなければ、今後40年間に1,000万人以上の子供たちが、身体障害を患うことになるかと推測されています。

実際1985年には、125カ国に35万人のポリオ感染者がいました。

ロータリー2億ドルのチャレンジ 2008年-2012年,

2007年11月 ゲイツ財団から1億ドルの補助金

2008年1月 ロータリーの1億ドルのチャレンジ

実施期間:2010年12月31日まで

2009年1月 ゲイツ財団から新たに2億5,500万ドルの補助金

ロータリーは、2012年6月30日までに合計2億ドルを調達することを目標

2012年1月 2億ドルチャレンジ達成いたしました!!!

合計5億5,500万ドル。何とんでも、“ポリオ撲滅を達成する!”世界との約束を果たすという事です。ポリオ撲滅へ向けた戦いは、根絶するまで続きます。

※朗報:インドがポリオ常在国リストから除外されました。ポリオ蔓延国であったインドでは、2011年1月13日以来、ポリオの感染が1件も確認されていません。よって現在のポリオ常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国となりました。

しかしながら完全な撲滅を果たすためには、今一步の力を振り絞らなければなりません。私たちは、今歴史的機会を迎えようとしています。

3. ロータリー財団への寄付

I. 年次寄付

使途を決めずして寄付して、3年後にプログラムに使う。

1,000ドル以上の寄付者をポール・ハリス・フェローといいます。3年間投資に回し、その運用益を人件費等運営費に当てます。

II. 恒久寄付

もとのロータリー財団基金。1994年に改称。元金を使わない基金で投資収益のみをプログラムに使う。目標は2025年までに10億ドル。(奨学金基金)

1,000ドル以上の寄付者をベネファクターといいます。

III. 使途指定寄付

ポリオ・プラスへの寄付等、使い方を限定した寄付が該当します。

さまざまな寄付の態様がありますが、この3種類が主なものです。

財団に寄付する場合、寄付される会員が、寄付先を指定して、寄付を行います。

4. ロータリー財団の「未来の夢計画」

I. なぜ未来の夢計画なのか(2010-2011年度から3年間は100地区の試験的地区の選出・認定)

2017年のロータリー財団の100周年に備える

① 膨大な成長(人道的補助金は増える一方)

② 慈善分野で重要な存在であり続ける(ビルアンドメリンダゲイツ財団,フォード財団などと同様に)

- ③ 今後とも発展していく組織であり続けるように
- ④ ロータリアンからの意見(1万人超のロータリアンからのアンケート等での意見聴取)
- ⑤ 継続性, 重要性, 簡素化

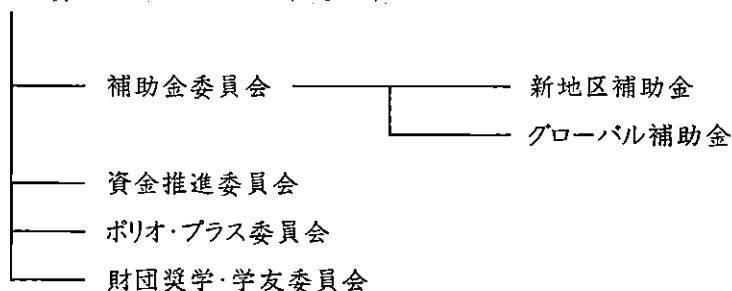
持続可能な成果を生むことができるように

多くの人々に認められ、利用しやすい財団へと発展するために“変化”

II. 2013-14 年度から、ロータリー財団は、新しく生まれ変わろうとしています。

それに合わせて、地区ロータリー財団委員会の組織構成が変わります。(2012-13 年度より)

ロータリー財団委員会(2012～2013 年度 より)



今後の予定—新補助金開始 2013—14 年度

① 全世界で新しい補助金の授与を開始(新地区補助金, グローバル補助金)

② 残りの現行プログラムを段階的に廃止

いずれにしても、私たちの使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済できるようにすることであり、これが未来の夢計画の狙いです。

③ 新地区補助金はこうなります。

- 新地区補助金(District Grant: DG)は、シェアされた DDF の最大で 50% です。例えば、3年前の年次寄付額 50万ドルだとすると、新地区補助金の額は、125,000ドルとなります。
- DG の申請は、地区として1本にまとめて前年度末に TRF に提出しなければなりませんので、クラブからは前年度の2月～5月を目途にプロジェクトを申請していただくことになります。
- 地区の補助金委員会でチェックをし、まとめて一覧表を作成し、TRFに一括して申請します。(地区からの DG 申請は1回のみです。)
- DG の予算額には限度がありますので、予算額に達した時点で、締め切りとなります。(先着順で受付となります。)
- 補助金の支給額は、その年度によって一定の基準が設けられますので、事前に各クラブにお伝えします。
- 補助金の支給は、9月前後に TRF より一括して地区に振り込まれてきますので、その後に各クラブが指定した銀行口座に振り込むことになります。
- 報告書は、今まで通り 5月末日までにプロジェクトを完了し、遅くとも 6月中に提出していただきます。

④グローバル補助金はこうなります。

- グローバル補助金(Global Grant:GG)は、3年前の年次寄付の25% + 恒久基金の運用益 + 前年度からの繰越金からポリオ・プラスやロータリー平和センターへの寄付を引いた金額となります。
- グローバル補助金は、6つの重点分野に属するプロジェクトであること、また、持続的で測定可能なプロジェクトであることが大前提となります。
- グローバル補助金を申請する際には、その前に提案書を提出しなければなりません。提出に際しては、必ず地区の補助金委員会を通していただきます。提案書が了承され、その後に申請書を提出します。
- クラブがプライマリとなって同時に行なうことができるグローバル補助金を使ったプロジェクトの件数は、10件までです。
- グローバル補助金は、地区からの補助金を加えて、従来のマッチング・グラントのようにWFからの補助金が付くものです。
- グローバル補助金のWFからの補助金の最低額が15,000ドルとなっていますので、今までのマッチング・グラントと比較して、大き目のプロジェクトを行なうこととなります。最低3万ドル以上になります。
(クラブ拠出金に対しては、1:0.5、DDFに対しては、1:1)
- グローバル補助金を利用した場合は、年度を跨いでもOKですが、1年ごとに中間報告書を提出しなければなりません。

5. Every Rotarian, Every Year \$100

「毎年あなたも100ドルを」(年次寄付)と、

恒久基金を支援する。(2025年までに10億ドル目標)

ロータリー財団は、皆様方の温かいご芳志・ご寄付で成り立っております。なにとぞご理解、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

6. ロータリーカードで、東日本の復興を！！

2012年12月31日まで日本のロータリーカードのロイヤルティ利用金額の0.3%は、ポリオ撲滅資金ではなく、東日本復興基金として活用されます。

ロータリーカード入会のご案内

財団活動に貢献する唯一のオフィシャルカード。(ロータリー インターナショナル マスターカード)
ご利用金額の0.3%が、自動的に財団に寄付されます。

・ゴールドカード (年会費10,500円、うち3,000円は、毎年財団に寄付される)

・スタンダードカード (年会費無料)

勿論それぞれいろんなポイントなど特典もついております。

当2740地区ホームページから簡単にアクセス申し込み、カードの取得ができます。ロータリアンの『身分証明書』としても、是非カードを取得していただき活用していただきますようお願いいたします。

7. 東日本震災復興事業について

東日本震災復興基金日本委員会

平成 24 年 2 月末までに、

委員会への補金申請	227 件
委員会で審査されたプロジェクト	224 件
承認されたプロジェクト	124 件

\$ 5,570,491.74

34 件のマッチング・グラントによる承認

2011 年 6 月 30 日までに承認認証されたもの)

\$ 1,075,277

復興基金の状況

現金寄付	\$ 5,553,948.39
DDFによる寄付	\$ 1,824,622.46
総計	\$ 7,378,570.85
現在の残高	\$ 732,802.11(平成 24 年 2 月)

8. 終わりに

2017 年には財団 100 周年を迎えます。今ロータリー財団は大きく変わろうとしています。

それが 2013 年度から完全実施されるロータリー財団「未来の夢計画」です。ロータリアンの為の財団に更に生まれ変わります。勿論生みの苦しみもありますが、世界中のロータリークラブが、その対応を着々と進めています。当 2740 地区でも、12-13 年度は、補助金セミナーの開催等未来の夢計画へ向けて、準備をしっかりと進めていく所存であります。

ロータリー財団は、私たち一人ひとりのロータリアンのものです。

ロータリアンとしての夢を可能にしてくれるのが、ロータリー財団であります。

ぜひとも皆様方のご理解とご支援ご参画を賜わり、『世界理解・親善・平和』を実現していくその一歩を記していきたいと念じております。

あわせて大変重要なお願い事項、依頼事項が多い財団であります。

財団の各プログラムをご理解頂き、「世界でよいことをしよう」この標語を少しでもロータリアンお一人お一人に浸透していただくべく、クラブ会長様を始め、国際奉仕・ロータリー財団ご担当の皆様のご尽力を切にお願いいたします。

財団奨学・学友委員会 活動方針

財団奨学・学友委員長 野口 道生(長崎出島 RC)

ロータリー財団で最も古く、そしてよく知られたプログラムである国際親善奨学金は、1947年に創設されました。それ以来、財団の援助の下、およそ100カ国から39,000人を超える人々が外国へ留学してきました。今日では、民間団体が提供する海外留学奨学金としては世界最大のものとなっています。

国際親善奨学金の目的は、異なる国や地域の人々の間に理解と友好関係を推進することです。現在留学中の当地区の奨学生は国際親善使節としての役割を果たし、留学地区のロータリー・クラブやその他の団体で日本や長崎・佐賀に関するスピーチや自身の研究発表などを行い親善を深めています。帰国した学生は、学友として留学中の親善大使としての体験談をロータリアンやその他の人々に卓話を行い、感動を与えています。そして、これから出発する後輩の奨学生の良きアドバイザーとしての役割も担い、学友間の「絆」を深めます。

活動方針

1. 広報と選考

- 1)各ロータリー・クラブに奨学生候補者の推薦要請
- 2)各ロータリー・クラブへの本制度の理解のための普及啓発活動
- 3)本制度の大学等の教育機関への広報活動
- 4)本制度の目的を充分理解した奨学生候補者の選考と教育

2. 候補者と顧問ロータリアンの研修

- 1)国際ロータリーとロータリー財団の歴史・目標・理想についての研修
- 2)奨学金プログラムの第一の目的である親善大使としての責務の理解と留学中の卓話の内容についての実践トレーニング
- 3)顧問ロータリアンの役割についての研修

3. 学友委員会の設置準備

- 1)地区内学友の追跡調査
- 2)奨学生候補者研修会への参加要請
- 3)ロータリー行事への参加要請

4. 未来の夢計画の推進

- 1)未来の夢計画の理解の為の啓蒙活動

《参考資料》

グローバル補助金の6つの重点分野

- | | |
|---------------|-------------|
| ①平和と紛争予防・紛争解決 | ②疾病予防と治療 |
| ③水と衛生 | ④母子の保健 |
| ⑤基本的教育と識字率向上 | ⑥経済と地域社会の発展 |

ロータリーの重点分野

これまでのロータリアンの活動分野を検討した結果、財団管理委員会は、データや情報の集積によって具体的な活動成果を測ることができ、クラブと地区が最大限の成果をもたらすことができると思われる6つの重点分野を特定しました。すべてのグローバル補助金プロジェクト、奨学金、職業研修チームは、以下の重点分野のいずれかにおいて具体的目標を目指したものとする必要があります。



平和と紛争予防/紛争解決

- 地元での平和活動を強化する
- 紛争予防と仲裁に関する研修を地元のリーダーに提供する
- 紛争地域での長期的な平和構築を支援する
- 紛争による被害を受けた弱い立場にある人々、特に子どもと青少年に援助を提供する
- 平和と紛争解決に関する研究を支援する



疾病予防と治療

- 地元の保健の専門家の能力を高める
- 主要な疾病の蔓延を防止するために、地域社会の人々を動員し、教育する
- 地域社会の医療施設を改善する
- HIV/エイズ、マラリア、その他の主要な疾病の蔓延を防止する
- 疾病の予防と治療に関連する研究を支援する



水と衛生

- 安全な飲料水と基礎的な衛生設備を地域社会のより多くの人々が均等に使えるようにする
- 持続的な水設備と衛生設備を開発し、管理していくための地域社会の能力を高める
- 安全な水と衛生について地域社会の人々を教育する
- 水と衛生に関する研究を支援する



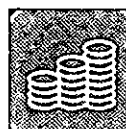
母子の健康

- 5歳未満の子供たちの死亡率を減らす
- 妊婦の死亡率を減らす
- より多くの母子が、適切な訓練を受けた医療スタッフによる基本的な医療サービスを受けられるようにする
- 母子の健康に関する研究を支援する



基本的教育と識字率向上

- 子供たちが質の高い基本的教育を受けられるようにする
- 教育における性別格差を縮める
- 成人の識字率を高める
- 基本的教育と識字率向上を支えていく地域社会の能力を高める
- 基本的教育と識字率向上に関連する研究を支援する



経済と地域社会の発展

- 貧しい地域における起業家や地域社会のリーダーの育成、特に女性の発展に力を入れる
- 生産性の高い充実した仕事の機会を特に青少年のためにつくる
- 経済発展を支えるため、地元の組織の能力を構築し、地域社会のネットワークを強化する
- 経済と地域社会の発展に関連する研究を支援する

ロータリーの重点分野および未来の夢計画についての詳細は、RIのHPを参照ください。

<http://www.rotary.org>

2.B

地区委員会の構成 (未来の夢)



経験豊かで熱心なロータリアンから成る地区ロータリー財団委員会は、財団に関する教育や、財団活動への参加の奨励を行う上で、地区ガバナーを支援します。また、ロータリー財団とクラブとの間の橋渡し役となります。地区ガバナーは、この委員会の職権上の委員となります。

ロータリー財団委員長

委員会の機能を効果的に果たすには、指導者の継続性を保つことが大切です。このため、地区ロータリー財団委員長は3年任期で任命され、任期途中で交代は特別な事態が生じた場合に限られます。

委員長は、地区ガバナーの指揮の下、委員会と協力しながら、地区のすべての財団活動を計画、調整、評価します。

責務

- » クラブと地区の参加資格認定状況など、地区のすべての財団活動について、毎月、地区ガバナーに報告する。
- » すべての小委員会を監督し、その職権上の委員を務める。
- » 次年度の財団地区目標を設定する前に、地区内ロータリアンの考えや意見を把握できるよう、ガバナー・エレクトを援助する。
- » 地区ロータリー財団委員会の決定に基づいて、地区財団活動資金(DDF)の使用を許可する署名をする(署名人は計2名)。
- » ガバナーおよび他の委員長と協力し、各委員会の活動にロータリー財団の活動が組み込まれるようにする。
- » ガバナー、地区研修リーダー、地区研修委員会と協力して、地区の各セミナーを計画、実施、推進する(補助金管理セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区協議会、会長エレクト研修セミナー[PETS])。
- » 地区の参加資格認定手続きを監督し、「地区の覚書(MOU)」に記載された要件が守られるようにする。
- » グローバル補助金の申請書に不備がないこと、また申請するクラブが受領資格を満たしていることを確認する。
- » 新地区補助金の代表連絡担当者となる。
- » クラブ・ロータリー財団委員会をサポートする。
- » 財団の各賞にふさわしい候補者を選出する上で、ガバナーを援助する。



お忘れなく

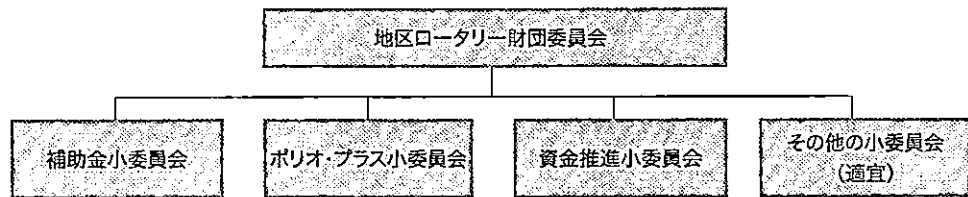
ロータリー財団は、地区ロータリー財団委員長ならびに3つの主な小委員会の委員長と直接連絡を取り合います。ロータリー平和センターに関する情報は、補助金小委員長に連絡されます。

地区ロータリー財団小委員会

地区ロータリー財団小委員会は、未来の夢計画における地区の活動に合わせて簡素化された構成となっています。3つの主な小委員会のほかにも、地区が関心を持っている分野の小委員会を追加できます。また、これまで財団委員会が担当していた責務の一部は、ほかの委員会に割り当てられています。

小委員会の委員長は、毎年ガバナーにより任命され、自動的に地区ロータリー財団委員会の委員となります。任命は、プログラムへの参加と寄付などの貢献の両面において、その人物がロータリー財団に対しどれだけ熱心に取り組んできたかに基づいて行われます。また、小委員会の空席を埋めるため委員を任命するのも地区ガバナーの責務です。

推奨される委員会構成



補助金小委員会

補助金小委員会は、新地区補助金とグローバル補助金の活用、ロータリー平和センター・プログラムへの参加を促す役割を担います。また、クラブが補助金を利用して教育的、職業的、人道的な奉仕活動に参加できるよう支援します。

責務

- ≫ 地区で、各種の人道的補助金に詳しい人物として、相談や問い合わせに応じる。
- ≫ 新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件が守られるようにする。この授与と受諾の条件についてクラブを指導する。
- ≫ 補助金資金をクラブと地区に配分するための方針を作り、これを実施する。
- ≫ クラブが補助金の参加資格を満たせるよう監督する。
- ≫ クラブまたは地区が提唱した全補助金活動について、適切な資金管理(ロータリー財団への報告を含む)が行われるよう確認する。
- ≫ 補助金関連の活動で、資金乱用や不正使用が疑われる場合はそれを財団に報告し、地元でも調査を行う。
- ≫ DDFの配分について意見や助言を提供する。

構成

補助金小委員会の組織方法には、いくつかオプションがあります。例えば、小委員会の中にグループ(新地区補助金、グローバル補助金、ロータリー平和センター)を作り、それぞれの、補助金審査、資金管理、奨学金を担当する委員を割り当てることができます。地区の関心分野やニーズに合わせて、最もふさわしい組織構成を検討してください。

補助金に関する詳細は、「6.B ロータリー財団の補助金」をご参照ください。

出典:地区ロータリー財団委員会要覧

ポリオ・プラス小委員会

ポリオ・プラス小委員会は、ロータリーのポリオ撲滅活動について、ロータリアンや一般の人々に伝え、募金活動を実施します。

責務

- » ロータリアン、クラブ、地区に、ポリオ・プラスへの寄付(DDF寄贈を含む)を奨励する。
- » 1年に少なくとも1回、地区でポリオ・プラス募金活動を実施する。
- » 地区ロータリー財団委員長、地区広報委員会、地区ガバナーと協力して、ポリオ撲滅のためのクラブと地区の模範的な活動を表彰する。
- » 地区のロータリー財団研修の一部として、ポリオ・プラスの発表を行う際に、ガバナーと地区研修リーダーを助ける。
- » ポリオ撲滅活動を実施するため、国または地域のポリオ・プラス委員会、政府機関、他団体との協力を調整する。
- » DDFの配分について意見や助言を提供する。

構成

ポリオ・プラス小委員会の構成は、地元でのポリオ発生状況によって異なります。ポリオ常在国では、その国のポリオ・プラス委員会と密に協力し、全国予防接種日の活動や募金活動を支援します。常在国以外では、ロータリーのポリオ撲滅活動の推進に焦点を当て、資金推進小委員会とともに、ロータリーの2億ドルのチャレンジへの寄付を募ります。ポリオに関する詳細は、「5 ポリオ・プラス」をご参照ください。

資金推進小委員会

資金推進小委員会は、地区における財団の募金活動、および寄付者の認証を管理、監督します。

責務

- » クラブが募金目標を設定し、これを達成できるよう、助言と支援を提供する。
- » クラブや地区で募金活動を行う。
- » ロータリー財団の募金活動に参加するようクラブの意欲を高め、また募金活動に関するアドバイスをする。
- » 寄付者に適切なかたちで感謝の意を表するため、地区で寄付者認証行事を行う。
- » DDFの配分について意見や助言を提供する。

構成

資金推進小委員会は、地区の資金推進(募金)活動に応じて、柔軟に組織することができます。例えば、小委員会の責務を、年次プログラム基金への寄付と恒久基金への寄付に分けたり、財団晩餐会、ポール・ハリス・ソサエティ、大口寄付者、ポリオ・プラスといった具体的な任務に分けることもできるでしょう。委員の人数を決める際には、地区目標や、地区が重点を置く分野は何かを考慮に入れましょう。

募金活動に関する詳細は、「7 寄付増進活動」をご参照ください。

第6分科会

米山記念奨学部会

15:30~16:30 3F 天山

アドバイザー	パスト・ガバナー、 米山記念奨学部会常務理事	栗 林 英 雄 (諫早北RC)
リーダー	米山記念奨学部委員長	曾 我 文 雄 (伊万里西RC)
副リーダー	米山記念奨学部委員	本 多 善 彦 (雲仙RC)
SAA	米山記念奨学部委員	本 村 一 (佐賀西RC)
地区委員		大 家 和 義 (小城RC)
		花 島 光 喜 (鹿島RC)
		吉 田 正 鋼 (唐津東RC)
		岡 本 章 二 (佐世保西RC)
		直 江 弘 明 (佐世保南RC)
		千 葉 まさこ (諫早南RC)
		草 野 一 夫 (長崎北RC)
		上 田 康 雄 (長崎北RC)

米山記念奨学事業と2740地区の現状

米山奨学委員長 曾我 文雄

次年度国際ロータリー田中作次会長のRIテーマは「奉仕を通じて平和を」です。このテーマこそ我が米山奨学事業の理想なのです。

米山奨学会は第二次世界大戦後の復興途上にあつた1952年、東京RCが発表した「米山基金」の構想から始まりました。「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい」という当時のロータリアンの強い願いがありました。数年後には全国組織となり、全国のロータリアンが米山奨学会に毎年寄付をする決議をしたのです。それがクラブの予算に計上されている普通寄付です。その後、特別寄付を募ることになって、現在では日本のロータリアンが世界に誇れる、日本最大の民間奨学団体になっています。これまでに世界120の国・地域から1万7千人もの留学生の支援をして来ました。

米山奨学会には他の組織にはない、素晴らしい特徴があります。それは世話クラブとカウンセラー制度です。カウンセラーや世話クラブを通じて、普通の日本人の考え方や家庭生活を知ってもらい、自国と日本との架け橋になってもらいたいのです。特に、地域のお祭りなどの行事に参加できたら一生の思い出になり、絆も強くなるでしょう。

米山奨学金は全て皆さん方の寄付金で賄われています。今年までは年間800人の奨学生を受け入れることが出来ました。しかし、寄付金の減少が止まらず、来年度は700人に減員されることになりました。全国的に寄付が減る中で2740地区の減り方が酷く、34地区中26位だったのが昨年度は31位になり、大災害を受けた岩手・宮城・福島の三県より少ないという恥ずかしい結果となっています。

米山奨学会は毎年12月に次年度のガバナーや地区委員長のセミナーを行い、寄付増強のお願いをしています。その中でもガバナーの協力を強く望んでいます。ガバナーから会員に直接、お願いしていただくと大きな効果が有るのです。

今年度、ガバナーエレクトは、米山奨学会が各地区に示した共通目標寄付額「年間一人1万6千円」を掲げました。これは昨年度実績の約2倍の金額ですが、全国平均に近い金額なのです。「普通寄付5,000円・特別寄付2万円」を歴代ガバナーが申し継ぎをされている地区もあるのです。

この目標を達成するのは難しいことではありません。勿論、会長と委員長の協力と努力が必要ですが、システムを作り、会員が協力すれば、無理なく達成出来ます。地区委員も全面的に協力します。我々の今年度スローガンは

「全国平均に追いつき・追い越せ！」です。

次年度 地区運営について

次年度地区幹事 古賀久志(佐賀北RC)

1. 組織について

ガバナー補佐 10名(10グループ)

地区区分及び担当クラブは従来通りです。
担当クラブの育成、調整等のご助力をお願いしています。

地区委員会 6部門16委員会とし、同系列委員会が複数ある部門にはそれを統括する委員会を設置しています。

ロータリー財団部門を4委員会に分けましたが、その他は前年度の編成方針を尊重しました。

2. 次年度地区主要行事等について

(1)ガバナー公式訪問

7月から10月にかけて行います。担当ガバナー補佐の同行をお願いしています。(P. 62 参照)

(2)クラブ協議会

全て各ガバナー補佐にお任せしています。

(3) I M

開催は全て各ガバナー補佐にお任せしています。

(4)地区委員会研修セミナーおよび委員会

各委員長の判断にお任せしております。

現在予定されているセミナー等は、別紙(P. 61)の通りですが、未決定の行事もあり、決定次第順次ご連絡いたします。

(5)地区大会

日時:2013年4月6日(土)～7日(日)

場所:佐賀市文化会館

ホストクラブ:佐賀北RC

実行委員長:末次 義視

RI会長代理夫妻歓迎晩餐会

日時:2013年4月5日(金)

場所:ホテルニューオータニ佐賀

(6)国際大会

日時:2013年6月21(金)～26日(水)

場所:ポルトガル リスボン

3. 次年度予算(案)の承認について

(1)予算算定基礎会員数は、2220名で作成いたしました。

各人頭分担金は、総額を前年と同額にしております。

(2)GSE 特別会計について

I. 地区関係資金人頭分担当

(単位:千円)

		11~12年度予算	12~13年度予算	前年予算対比
(1) 地区資金会計	地区資金			
	地区大会分担当	9,675	9,990	315
	日本事務局分担当	4,275	4,218	△ 57
	特別会計分担当	1,500	1,500	0
	小計	0	0	0
(2) G事務所分担当	G事務所分担当	15,450	15,708	258
	月信費	200	200	0
	小計	2,725	2,900	175
(3) 国際青少年交換資金会計	月信費	4,275	4,218	△ 57
計	小計	550	550	0
予算算定基礎会員数		1,000	900	△ 100
		900	1,100	200
		200	200	0
		5,400	5,400	0

II. 地区資金一般会計

		11~12年度予算	12~13年度予算	前年予算対比
収入の部	(1) 地区資金	100	100	0
	(2) 地区大会分担当	100	140	40
	(3) 日本事務局分担当	15,450	15,708	258
	(4) 特別会計分担当	0	0	0
	(5) その他収入			

(単位:千円)

		11~12年度予算	12~13年度予算	前年予算対比
収入合計 (A)		4,050	3,996	△ 54

		11~12年度予算	12~13年度予算	前年予算対比
支出の部	(1) ガバナー関係費	0	0	0
	GE国際協議会	0	0	0
	全国G・PG会議費	0	0	0
	地区G・PG会議費	0	0	0
	各種会議費	4,050	3,996	△ 54
	G記念品代			
	渉外・広報費	1,600	1,600	0
	(2) 地区活動費・補助金	400	400	0
	地区大会	600	600	0
	地区協議会	100	100	0
	PETS	300	300	0
	地区チーム研修セミナー	150	150	0
	インターアクト助成金	100	100	0
	ローターアクト助成金	700	700	0
	RYLA助成金	100	46	△ 54
R財団学友会	4,050	3,996	△ 54	
(3) G補佐費	0	0	0	

		(単位:千円)			
		収入	支出	期末残高	備考
(4) 地区委員会費	クラブ奉仕				
	会員増強				
	職業奉仕	801	5,225	4,716	
	社会奉仕	810		A	
	新世代	799		B	
	新世代危機管理委員会	200	0	200	
	IA	200	0	400	
	RA	200	600	0	開催年度
	RYLA				
	国際青少年交換		12年度残高 9,390 (千円)		
	国際奉仕				
	R財団		8,000(千円)		
	補助金委員会	多会費等	12-13年度 500(千円)、13-14年度 500(千円)		
	資金推進	クラブ関係費等	390(千円)		
	ポリオ・プラス				
財団奨学・学友					
GSE					
米山記念奨学					
(5) 日本事務局分担当					
(6) 特別会計繰入金					
(7) 研修会、世界平和フォーラム関係費用					
(8) 予備費					
支出合計 (B)					
収支差額 (A) - (B)					

ガバナ	
PG	逸見 騎北東
PG	宮島 價北
PG	市瀬 戸
PG	佐古 勇
PG	牟田 朋
PG	野崎 昶
PG	武井 潤西
PG	隅田 野里
PG	安部 直
PG	栗林 英
PG	本城 英
PG	田口 厚
PG	野口 清
PG	高城 昭
PG	高原 正

「ロータリー」地区代表委員	
江口 太資	佐賀北

(財)米山記念奨学会		
2011～2013年度理事	栗林 英雄	諫早北
2012～2013年度評議員	高城 昭紀	島原

PETS実行委員会		
委員長	岩永 信長	松尾 日出輝
		佐賀北
委員長	池田 敬介	佐賀北

地区協議会実行委員会		
委員長	太田 善郎	佐賀北
委員長	大塚 浩司	佐賀西
委員長	西田 信行	佐賀北

地区大会実行委員会		
委員長	末次 義視	佐賀北
委員長兼幹事	西田 信行	佐賀北
事務局長	森永 敏男	佐賀北

①クラブ奉仕統括委員会	
◎佐藤 豊	長崎琴海
砥綿 正徳	佐賀
梅津 哲夫	佐賀西
永田 武義	佐世保北
助村 房子	諫早南
川上 信幸	長崎東

②職業奉仕委員「ロータリー」財団委員会		
◎駒井 英基	佐賀和彦	大村
山本 康德	牛津義文	大村
吉岡 義治	佐賀晃	長崎南
梶原 亮謙	長崎太	佐賀西
	哲雄	佐世保
	道生	長崎出島

⑥米山記念奨学委員会	
◎曾我 文雄	伊万里西
大家 和義	小城
本村 一	佐賀西
花島 光喜	鹿島
吉田 正綱	唐津東
岡本 章二	佐世保西
直江 弘明	佐世保南
本多 善彦	雲仙
千葉 まさこ	諫早南
草野 一夫	長崎北東
上田 康雄	長崎北

会員増強委員会	
◎佐藤 豊	長崎琴海
飯盛 康登	多久
大坪 豊	佐賀西
貞方 正一	平戸
井上 亮	佐世保中央
谷川 正文	島原
丸木 覚誠	長崎北東

インターアクト委員会		
◎中尾 嘉宏	佐賀西	
岸川 正人	佐賀西	
前田 法弘	武雄	伊万里
松尾 繁樹	唐津	佐世保南
松尾 慶一	佐世	
川原 博司	大村	
三田 光雄	長崎	

ポリオ・プラス委員会		
◎玉野 哲雄	佐世保	
香月 武	佐賀	
馬場 久之	伊万里西	
鶴巻 重次	長崎東	

財団奨学・学友委員会	
◎野口 道生	長崎出島
隅 康二	佐賀西
立石 泰彦	佐賀北
川崎 伸一	HTB佐世保
喜多 清基	島原
有田 信一	長崎中央

国際ロータリー 第2740地区 2012～2013年度 地区主要行事予定表(案)

2012.5.15更新

2012年

月	強化月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	グループ・クラブ
7月	識字率向上 月間	1(日) 2(月) 6(金) 17(火)～	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 財団地域セミナー 第1回諮問委員会 ガバナー公式訪問 ～10月24日(水)	8(日) 14(土) 14(土) 14(土) 20(金) (未定) 28(土)-29(日) 7月～	[R財団奨学・学友]親善奨学生候補者選考会議 又は 親善奨学生候補者面接試験 クラブ奉仕セミナー 【新世代統括】地区委員会 【R財団】第1回地区委員会 【国際青少年交換】派遣候補生応募締切 【インターアクト】地区委員会 2012-13年度インターアクト年次大会(ホスト校担当:諫早RC) 【国際青少年交換】地域国際化事業 (地域小学校、企業訪問)～3月末		
3月	識字率向上 月間	(未定) (未定)	第4回諮問委員会 (2013-14年度)PETS(ホスト:北松浦RC)	17(日) (未定) 31(日)	【米山記念奨学】2012年度米山奨学生・終了式 【国際青少年交換】第8回地区委員会/オリエンテーション 【米山記念奨学】米山カウンセラー・ 奨学生オリエンテーション		
4月	ロータリー 雑誌月間	6(土)-7(日)	地区大会	14(日)or21(日) (未定)	【R財団奨学・学友】第3回地区委員会 (親善奨学生候補者研修会及び壮行会) 【国際青少年交換】第9回地区委員会/オリエンテーション		
5月		12(日) 17(金)-18(土)	(2013-14年度)地区協議会(ホスト:佐世保RC) ロータリー世界平和フォーラム 広島	(未定) 18(土)～予定 (未定) (未定)	第3回 R財団・補助金セミナー(未来の夢計画) 【米山記念奨学】奨学生研修旅行 RYLA(ホスト:佐賀南RC) 【国際青少年交換】第10回地区委員会/オリエンテーション		
6月	親睦活動 ロータリー 月間	21(金)-26(水)	国際大会 ポルトガル・リスボン	16(日) (未定)	【米山記念奨学】地区委員会 【国際青少年交換】第11回地区委員会/ オリエンテーション さよなら&壮行会	8(金)or9(土)	松浦RC創立40周年

2012-13年度 ガバナー公式訪問 及び クラブ協議会 日程(案)

グループ・AG	クラブ名	公式訪問	クラブ協議会
第1グループ 倉永 圓宰 ガバナー補佐 (小城RC)	佐賀RC	8月23日(木)	8月16日(木)
	小城RC	9月26日(水)夜	8月29日(水)夜
	牛津RC	8月10日(金)	8月 3日(金)
	多久RC	8月 9日(木)	8月 2日(木)
	佐賀大和RC	7月24日(水)夜	7月17日(火)
第2グループ 久保 志郎 ガバナー補佐 (佐賀西RC)	佐賀西RC	9月 3日(月)	8月20日(月)
	佐賀北RC	10月24日(水)夜	10月17日(水)
	佐賀南RC	8月21日(火)夜	8月 7日(火)夜
	神埼RC	9月 4日(火)夜	8月28日(火)
第3グループ 迎 雅瑞嗣 ガバナー補佐 (鹿島RC)	佐賀空港RC	9月26日(水)	9月19日(水)
	有田RC	10月23日(火)	10月 2日(火)
	武雄RC	8月 6日(月)夜	7月30日(月)
	鹿島RC	7月17日(火)	7月10日(火)
	嬉野RC	7月27日(金)	7月20日(金)
	大町RC	9月20日(木)	9月 6日(木)
第4グループ 深谷 誓志 ガバナー補佐 (唐津中央RC)	白石RC	10月10日(水)	10月 3日(水)
	太良RC	9月27日(木)夜	9月20日(木)夜
	唐津RC	9月 4日(火)	8月28日(火)
	伊万里RC	10月24日(水)	10月17日(水)
	唐津東RC	9月27日(木)	9月20日(木)
第5グループ 鴨川 潔 ガバナー補佐 (佐世保西RC)	唐津西RC	9月19日(水)	9月12日(水)
	伊万里西RC	9月13日(木)	9月 6日(木)
	唐津中央RC	9月28日(金)	9月14日(金)
	佐世保RC	8月 8日(水)	8月 1日(水)
	平戸RC	9月 6日(木)	8月30日(木)
	佐世保西RC	10月 9日(火)	10月 2日(火)
	北松浦RC	9月25日(火)	9月18日(火)
	松浦RC	9月 7日(金)	8月31日(金)

グループ・AG	クラブ名	公式訪問	クラブ協議会
第6グループ 山口 二郎 ガバナー補佐 (佐世保東南RC)	佐世保南RC	8月 3日(金)	7月20日(金)
	佐世保東RC	10月11日(木)	9月27日(木)
	佐世保北RC	7月30日(月)	7月23日(月)
	佐世保中央RC	10月 4日(木)	9月20日(金)
	佐世保東南RC	9月12日(水)	8月29日(水)
	HTB佐世保RC	9月18日(火)	9月 4日(火)
第7グループ 高木 栄 ガバナー補佐 (大村東RC)	大村RC	8月21日(火)	8月 7日(火)
	島原RC	7月24日(火)	7月17日(火)
	雲仙RC	9月15日(土)	9月 8日(土)
	大村北RC	8月 8日(水)夜	8月 1日(水)
	島原南RC	10月17日(水)	10月10日(水)
第8グループ 森 由有 ガバナー補佐 (諫早西RC)	大村東RC	10月 1日(月)	9月24日(月)
	諫早RC	8月17日(金)	8月10日(金)
	諫早北RC	8月 2日(木)	7月26日(木)
	諫早西RC	8月22日(水)	8月 8日(水)
	諫早多良見RC	10月 2日(火)	9月25日(火)
	諫早南RC	8月20日(月)	8月 6日(月)
第9グループ 浜中 洋 ガバナー補佐 (長崎北東RC)	長崎RC	8月30日(木)	8月23日(木)
	福江RC	8月28日(火)夜	8月17日(金)
	長崎北東RC	7月18日(水)	7月11日(水)
	福江中央RC	8月28日(火)	8月21日(火)
	長崎西RC	9月11日(火)	9月 4日(火)
	長崎琴海RC	7月26日(木)	7月12日(木)
第10グループ 宮本 誠 ガバナー補佐 (長崎東RC)	長崎北RC	9月24日(月)	9月 3日(月)
	長崎南RC	7月25日(水)	7月11日(水)
	長崎東RC	9月21日(金)	9月14日(金)
	東長崎RC	8月 7日(火)	7月31日(火)
	長崎中央RC	8月27日(月)	8月20日(月)
	長崎出島RC	8月24日(金)	8月10日(金)

♪ ローターリーソング

『奉仕の理想』

奉仕の理想に集いし友よ

御国に捧げん我等の業

望むは世界の久遠の平和

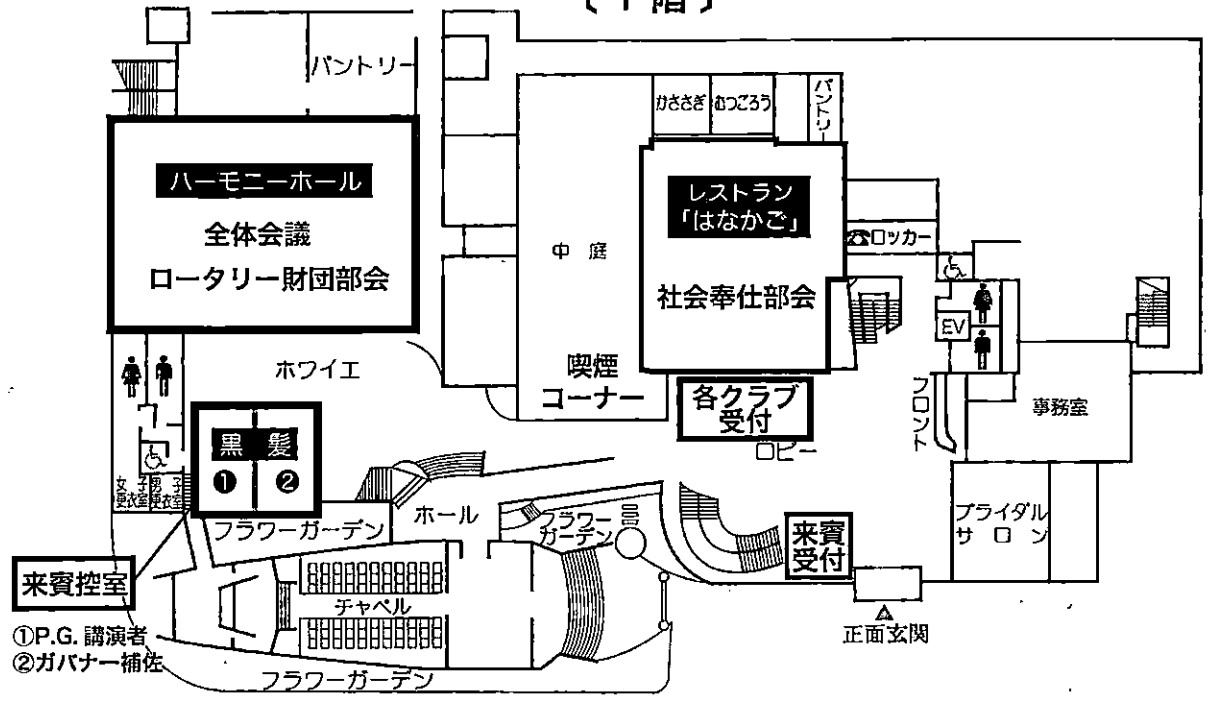
めぐる齒車いや輝きて

永久に栄えよ

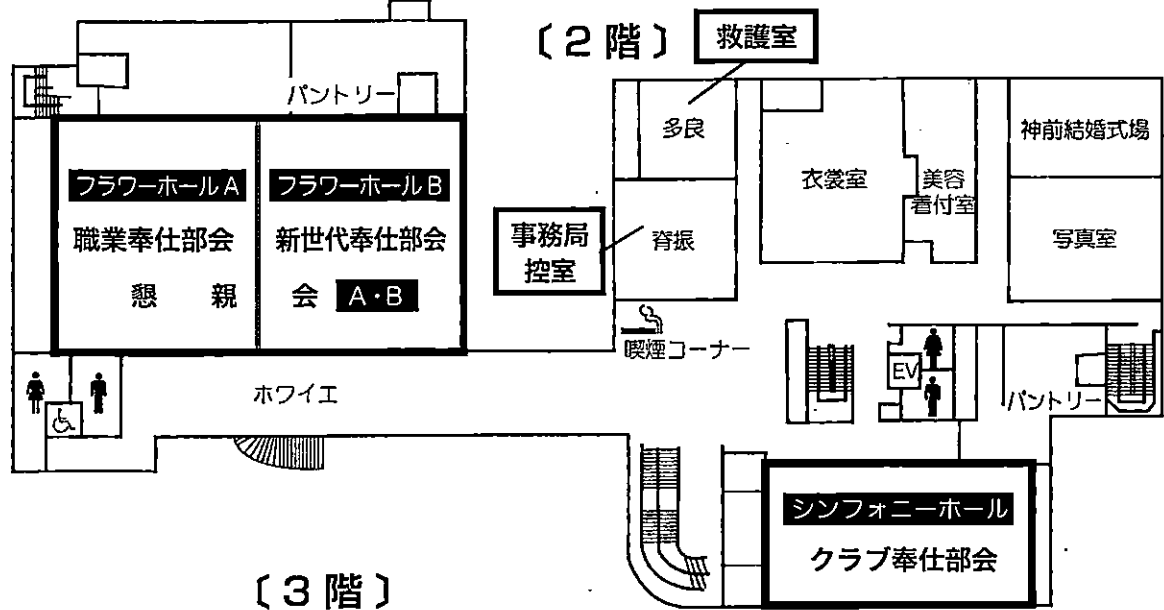
我等のロータリー　ロータリー

会場見取り図

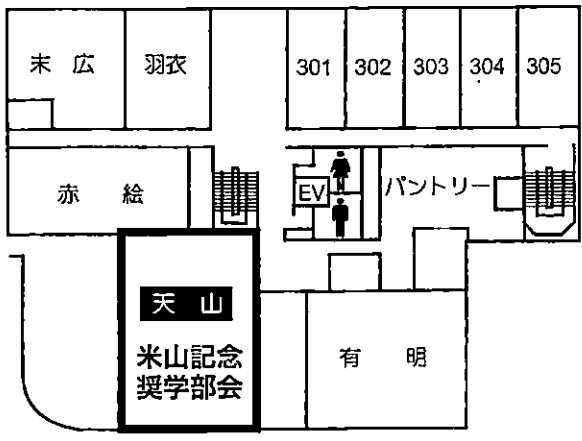
(1階)



(2階)



(3階)





Peace
Through Service

Sakuji Tanaka

Rotary International President
2012-13